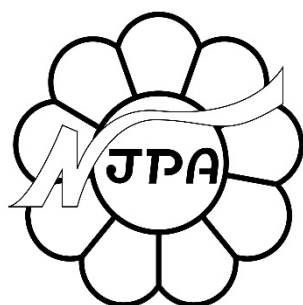


令和6年度全国中学校体育大会
第62回全国中学校スキー大会

開催要項



きっかけは「野沢温泉」

夢への扉が開く^{とき}瞬間

- 会 期 令和7年2月4日（火）～6日（木）スペシャルジャンプ、ノルディックコンバインド
令和7年2月4日（火）～7日（金）アルペン、クロスカントリー
- 会 場 長野県野沢温泉村
- 主 催 （公財）日本中学校体育連盟 （公財）全日本スキー連盟 長野県教育委員会
野沢温泉村教育委員会
- 主 管 長野県中学校体育連盟 （公財）長野県スキー連盟 北信地区中学校体育連盟
中高飯水中学校体育連盟

目 次

大会要項	1～8
全国中学校体育大会引率細則	9
式典・表彰要項	10～11
宿泊要項	12～13
災害等緊急対応要項	14～17
医療・救護要項	18～28
交通輸送要項	29～30
会場案内図	31～41

※「各種要項」、「申込関係資料」、「抽選関係資料」、「各種様式」は、大会ホームページにも掲載します。必要に応じてダウンロードし、正式申込や申請等を行ってください。
大会ホームページ <https://nozawazenchu.com/>

令和6年度全国中学校体育大会
第62回全国中学校スキー大会要項

- 1 目 的 本大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広くスキー実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒の相互の親睦をはかるものである。
- 2 主 催 (公財)日本中学校体育連盟 (公財)全日本スキー連盟 長野県教育委員会
野沢温泉村教育委員会
- 3 主 管 長野県中学校体育連盟 (公財)長野県スキー連盟 北信地区中学校体育連盟
中高飯水中学校体育連盟
- 4 後 援 スポーツ庁 全日本中学校長会 全国都道府県教育長協議会
全国市町村教育委員会連合会 (公社)日本PTA全国協議会
日本私立中学高等学校連合会 NHK 全国新聞社事業協議会 毎日新聞社
長野県 野沢温泉村 長野県中学校長会 中高飯水中学校長会
長野県市町村教育委員会連絡協議会 「スノーリゾート信州」プロモーション委員会
(公財)長野県スポーツ協会 株式会社野沢温泉 野沢温泉スキークラブ
信濃毎日新聞社 SBC 信越放送 NBS 長野放送 TSB テレビ信州 abn 長野朝日放送
- 5 協 力 陸上自衛隊第13普通科連隊(松本駐屯地)
- 6 特別協賛 大塚製薬株式会社 菅公学生服株式会社 北野建設株式会社
- 7 会 期 令和7年2月4日(火)～6日(木) スペシャルジャンプ ノルディックコンバインド
令和7年2月4日(火)～7日(金) アルペン クロスカントリー
- 8 会 場 (1) アルペン 野沢温泉スキー場カンダハーコース
(2) ジャンプ 野沢温泉シャンツェ
(3) コンバインドクロスカントリー 野沢温泉南原クロスカントリーコース
(4) クロスカントリー 野沢温泉南原クロスカントリーコース
- 9 実施要項
(1) 競技種目 男 子…スラローム、ジャイアントスラローム
スペシャルジャンプ(ヒルサイズ61m/k=55m)
ノルディックコンバインド(ヒルサイズ61m/k=55m、5kmフリー)
クロスカントリー(5kmクラシカル、5kmフリー)、リレー(4人×5km)
女 子…スラローム、ジャイアントスラローム
スペシャルジャンプ(ヒルサイズ61m/k=55m)
ノルディックコンバインド(ヒルサイズ61m/k=55m、2.5kmフリー)
クロスカントリー(3kmクラシカル、3kmフリー)、リレー(4人×3km)

(2) 競技日程

月 日	時 刻	内 容	会 場
2月3日(月)	16:00	監督・コーチ会議(アルペン)	野沢温泉村公民館またはオンライン
2月4日(火)	競技開始前	アルペン競技開始式	野沢温泉スキー場カンダハーコース
	9:30	男子ジャイアントスラローム	野沢温泉スキー場カンダハーコース
	8:00	監督・コーチ会議(ジャンプ)	野沢温泉シャンツェ
	9:00	男女スペシャルジャンプ公式練習	野沢温泉シャンツェ
	引き続き	男女コンバインドジャンプ公式練習	野沢温泉シャンツェ
2月5日(水)	引き続き	PCR(予備ラウンド)	野沢温泉シャンツェ
	13:00	監督・コーチ会議(クロスカントリー)	野沢温泉村公民館
	9:30	女子ジャイアントスラローム	野沢温泉スキー場カンダハーコース
2月5日(水)	競技開始前	ジャンプ競技開始式	野沢温泉シャンツェ
	9:00	男女スペシャルジャンプ	野沢温泉シャンツェ

2月 5日(水)	競技開始前	クロスカントリー-競技開始式	野沢温泉南原クロスカントリーコース
	9:30	女子クロスカントリー (クラシカル)	野沢温泉南原クロスカントリーコース
	11:00	男子クロスカントリー (クラシカル)	野沢温泉南原クロスカントリーコース
2月 6日(木)	9:30	男子スラローム	野沢温泉スキー場カンダハーコース
	9:00	男女コンバインドジャンプ	野沢温泉シャンツェ
	14:00	男女コンバインドクロスカントリー	野沢温泉南原クロスカントリーコース
	9:30	女子クロスカントリー (フリー)	野沢温泉南原クロスカントリーコース
	11:00	男子クロスカントリー (フリー)	野沢温泉南原クロスカントリーコース
2月 7日(金)	9:30	女子スラローム	野沢温泉スキー場カンダハーコース
	9:00	女子リレー	野沢温泉南原クロスカントリーコース
	11:00	男子リレー	野沢温泉南原クロスカントリーコース

*開・閉会式は行わない。表彰は、種目ごと競技終了後に現地にて行う。

*悪天候等への対応で、各種目の競技日が、各競技の大会会期内で変更になる場合がある。

(3) 競技方法

- ① (公財) 全日本スキー連盟規則最新版による。ただし、本大会要項に定めるものを優先する。
- ② アルペン競技とスペシャルジャンプ競技、ノルディックコンバインド競技、クロスカントリー競技 (リレー含む) を同一選手が兼ねることはできない。
- ③ アルペン競技の2本目は、出場人数を制限する場合がある。
- ④ ノルディックコンバインド競技において、PCR (予備ラウンド) を採用することもある。
- ⑤ コンバインドクロスカントリーは、グンダーセン方式で行う。
- ⑥ コンバインドクロスカントリーは、フリー走法とする。
- ⑦ 男女のリレーは、都道府県対抗とし、各7名以内 (走者4名) で構成する。また、第1・第2走者はクラシカル走法、第3・第4走者はフリー走法とする。

10 参加資格

- (1) 参加者は、都道府県中学校体育連盟に加盟した中学校に在籍すること。
- (2) 各都道府県中学校体育連盟において選考された者で、当該競技要項により全国大会参加資格を得た者に限る。
- (3) 年齢は、平成21年(2009年)4月2日以降に生まれた者に限る。
- (4) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、その年度の6月30日までに、都道府県中学校体育連盟を通して、(公財)日本中学校体育連盟に申し出ること。
- (5) 参加資格の特例
 - ① 学校教育法134条の各種学校在籍生徒
 - a 学校教育法134条の各種学校(1条校以外)に在籍し、都道府県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
 - b 参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
 - ア 全国大会の参加を認める条件
 - (ア) (公財)日本中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - (イ) 生徒の年令及び修業年限が我が国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
 - (ウ) 参加を希望する学校にあっては、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該校顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。
 - イ 全国大会に参加した場合に守るべき条件
 - (ア) 全国大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - (イ) 全国大会参加に際しては、責任ある当該校校長・教員または部活動指導員が生徒を引率すること。また万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
 - (ウ) 大会開催に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。
 - ② 地域クラブ活動に所属する中学生
 - a 地域クラブ活動に所属し、都道府県中学校体育連盟またはブロック中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
 - b 全国中学校体育大会に参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。
 - ア 全国中学校体育大会の参加を認める条件
 - (ア) (公財)日本中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - (イ) 生徒の年令及び修業年限が我が国の中学校と一致している。(中学校に在籍している生徒であること)

- (ウ) 地域クラブ活動にあっては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。
- (エ) 『学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン』（令和4年12月27日スポーツ庁・文化庁発出）の「Ⅱ 新たな地域クラブ活動」を遵守していること。
- (オ) 当該競技を管轄する中央競技団体もしくは都道府県競技団体に登録されていること。かつ同じ内容で都道府県中学校体育連盟に登録していること。（登録費については、都道府県中学校体育連盟の方針による）
- (カ) 都道府県における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。
- (キ) 地域クラブ活動で全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。
- イ 全国中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件
 - (ア) 全国中学校体育大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - (イ) 全国中学校体育大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任ある代表者もしくは指導資格を有する指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
 - (ウ) 全国中学校体育大会開催に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。
 - (エ) 団体競技における地域クラブ活動名での出場は1チームのみとする。（複数のチームの参加はできない）
- ウ 参加を認めない場合
 - (ア) 全国中学校体育大会参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。
- エ 令和6年度スキー競技部細則

各都道府県予選大会を含む全国中学校体育大会の参加について以下の条件の下、地域クラブ活動の参加を認める。また、各予選大会の実施方法、参加方法については、各都道府県中学校体育連盟の開催基準に従うことを条件とする。

 - (ア) 参加する地域クラブ活動においては、本大会に出場するために設立されたものではなく、「地域」における継続的なスポーツ活動を確保しようとする目的のものであること。
 - (イ) 都道府県中体連の登録について
 - ①参加を希望する地域クラブ活動の所在地と主な活動場所は、予選大会に参加を希望する都道府県中学校体育連盟と同一であること。
 - ②参加を希望する都道府県の中学校体育連盟の審査を受け、承認されて予選大会に参加していること。
 - (ウ) 指導者について
 - ①指導者は、「令和6年度全国中学校体育大会運営の基本と大会開催基準」の趣旨を理解し、学校教育活動の一環であること、大会参加の目的が競技力強化ではなく競技普及であることを理解し指導にあたっていること。
 - ②全日本スキー連盟が認定する、「JSP0 公認スポーツ指導者スキー・スノーボードコーチ1」の資格を有する指導者が、年間を通じて日常持続的に指導に当たっていることが望ましい。
 - ③地域クラブ活動の指導者は、他の地域クラブ活動の指導者や、中学校の外部指導者として各都道府県予選大会を含む全国中学校体育大会へ参加できない。
 - (エ) 全日本スキー連盟への登録
 - ①地域クラブ活動に所属する選手は、全日本スキー連盟会員登録、ならびに、競技者登録を完了していること。
 - ②会員登録、ならびに、競技者登録の加盟団体（都道府県）・クラブ名は、地域クラブ活動と異なってもよい。
 - ③全日本スキー連盟はクラブなどの団体登録をおこなっていないので、地域クラブ活動としての登録は必要ない。
 - (オ) 大会出場について
 - ①地域クラブ活動の指導者、ならびに、選手は、都道府県予選大会から同一でなければならない。
 - ②同一年度内に選手が登録できる地域クラブ活動は1クラブとし、地域クラブ活動への二重登録、ならびに、複数都道府県予選大会への出場は認めない。
 - ③都道府県中学校体育連盟専門部の求めに応じ、地域クラブ活動は大会運営や県選手団運営に協力すること。

- ④各都道府県予選大会を含む全国中学校体育大会へ参加する当該生徒の所属校長に、地域クラブ活動から書面で報告すること。(書式任意)
- ⑤クロスカントリーリレーについて
 - ・以下の2つの要件を満たす場合は、地域クラブ活動の登録所在地の都道府県より参加することができる。

- a 「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」、「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」又は登録メンバー全員が同一学校に在籍している場合。
- b 1団体から複数チームの参加は認めない。

(カ) 都道府県をまたいだ大会参加については、以下の2つの要件を満たす場合は、地域クラブ活動の登録所在地の都道府県より参加することができる。

- ①「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」または、「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」に在籍している場合。
- ②在籍している学校に希望する部活動がないこと等の場合において、都道府県中学校体育連盟が都道府県をまたいだ大会参加を認めている場合。

(キ) その他

- ①大会参加にあたり、上記細則に対して虚偽、違反、逸脱行為が発覚した場合は、各都道府県スキー専門部、ならびに、日本中体連スキー競技部で協議し、参加資格の取り消し、競技記録の抹消、次年度登録の禁止など、適当な処分を下す。
- ②都道府県中学校体育連盟スキー専門部ごとに、予選大会参加に関する細則を加えることができる。ただし、全国中学校体育大会参加にあたっては、このスキー競技部細則を遵守する。

(6) 個人情報の取扱い(利用目的)

大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、(公財)日本中学校体育連盟「個人情報保護方針・規程」に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。また、取得した個人情報は、競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・掲示板・報道発表・記録発表(記録集)、動画配信、医療機関等、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。大会に参加する各選手はこれに同意する。

11 参加人数枠、グループ(シード)、スタート順

(1) 参加人数

各種目、各都道府県の参加人数枠は次のとおりとする。

参加人数枠=基本人数+前年度実績人数

- ①基本人数は、各都道府県ともアルペン競技男女各4名、ジャンプ競技男子4名・女子10名、クロスカントリー競技男女各6名とする。
- ②前年度実績人数については、次のとおりとする。

☆男子=前年度	1位~10位	・・・	1名につき3名	11位~20位	・・・	1名につき1名
☆女子=前年度	1位~10位	・・・	1名につき2名	11位~20位	・・・	1名につき1名

 ただし、各種目とも各都道府県の最多参加人数枠は男子種目15名、女子種目10名とする。
- ③開催都道府県は、前年度実績に関わらず最多参加人数を出場させることができる。また、特別事項として、前年度実績において男子種目が最多参加人数である15名もしくは14名、女子種目が10名もしくは9名に達した場合、それぞれ2名まで参加人数を加えることができる。

男子種目：15名の場合	→参加人数枠17名	14名の場合	→参加人数枠16名
女子種目：10名の場合	→参加人数枠12名	9名の場合	→参加人数枠11名
- ④リレー種目の参加は、各都道府県とも男女1チームずつとする。
- ⑤正式申込後の選手交替およびランキングの変更は認めない。
- ⑥第62回大会の各都道府県の参加人数枠は次のとおり。

<各都道府県参加人数枠>

No.	都道府県	アルペン				ジャンプ				クロスカントリー					
		スラローム		Gスラローム		スペシャルジャンプ		ノルディックコンバインド		クラシカル		フリー		リレー	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1	北海道	14	10	15	10	15	10	12	10	9	8	14	8	1	1
2	青森	4	4	4	4	5	10	7	10	7	8	6	8	1	1
3	岩手	5	5	5	4	5	10	5	10	7	8	6	7	1	1
4	宮城	7	4	5	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
5	秋田	6	5	7	4	5	10	7	10	12	10	13	10	1	1
6	山形	7	6	4	5	4	10	4	10	10	8	10	9	1	1
7	福島	5	4	5	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
8	茨城	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
9	栃木	4	6	4	5	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
10	群馬	11	6	4	6	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
11	埼玉	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
12	千葉	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
13	東京	4	6	13	10	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
14	神奈川	4	5	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
15	山梨	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
16	長野	15	10	15	10	16	10	17	10	17	12	17	12	1	1
17	新潟	4	6	8	5	9	10	13	10	15	10	15	9	1	1
18	富山	5	4	4	5	4	10	5	10	6	6	6	6	1	1
19	石川	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
20	福井	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
21	静岡	5	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
22	岐阜	4	7	4	6	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
23	愛知	7	5	7	5	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
24	三重	4	5	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
25	滋賀	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
26	京都	4	5	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
27	大阪	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
28	兵庫	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
29	奈良	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
30	和歌山	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
31	鳥取	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
32	島根	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
33	岡山	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
34	広島	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
35	山口	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
36	徳島	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
37	香川	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
38	高知	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
39	愛媛	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
40	福岡	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
41	佐賀	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
42	熊本	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
43	長崎	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
44	大分	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
45	宮崎	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
46	鹿児島	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
47	沖縄	4	4	4	4	4	10	4	10	6	6	6	6	1	1
	計	229	214	223	221	218	470	223	470	317	300	315	306	47	47
	都道府県数	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47

(2) グループ (シード) ・ スタート順

①前年度1～10位の選手は、特別グループにシードする。

(女子スペシャルジャンプ・女子ノルディックコンバインドは1～6位)

②上記以外の参加者については、アルペン競技は5グループ、スペシャルジャンプ・ノルディックコンバインド・クロスカントリー競技は4グループに分けて抽選する。

③スタート順について、アルペン競技は、特→1→2→3→4→5グループの順、スペシャルジャンプ・ノルディックコンバインド・クロスカントリー競技は、1→2→3→4→特グループの順とする。

④アルペン競技におけるグループの出場枠は、次の計算による。

(ア) 第1グループに入る各都道府県の出場枠は、前回と前々回の大会において、1位～15位までに入った選手数を合計し、平均値を出す。

もし、平均値に小数点以下の端数が出たときは、すべて切り上げる。

(イ) 第2グループも同様に、16位～30位までを計算する。

(ウ) 第1・第2グループにおける各都道府県の最多出場枠は1グループ3名とし、これを越えた場合は、次のグループ(第3グループ)に入れる。

(エ) その他の選手については、第3～第5グループの3区分に編成する。

⑤参加人数枠より参加人数が少ない場合は、ルールに則りグループ分けをする。

12 参加料等

(1) 参加料は、参加選手1人につき4,000円とする。

(2) 参加料等は各都道府県一括で、申込と同時に下記口座に振り込むこと。

※振込依頼人名は、都道府県名が分かるものにする。

※振込手数料は自己負担とする。申込後切後の返金は一切行わない。

※参加料等に関する領収書は発行しない。(振込金受取書(振込票)をもって、領収書に代える。)

領収書が必要な学校(チーム)がある場合は、参加料等を受領した各都道府県で対応する。

金融機関名：ながの^{のうぎょうきょうどうくみあい}農業協同組合 ^{のざわおんせんししよ}野沢温泉支所

店番号：5499-073

口座番号：(普)0031048

口座名義：^{ぜんこくちゅうがっこう}全国中学校スキー大会^{たいかいながのけんじつこういんかい}長野県実行委員会 ^{いんちよう}委員長 ^{おがさわら}小笠原 ^{しげみつ}重光

13 引率・監督

(1) 全中大会に出場するチーム・選手の引率・監督は、出場校(チーム)の校長・教員・部活動指導員※1、地域クラブ活動の代表(指導)者とする。部活動指導員が引率・監督を務める場合は、「参加申込書(書類番号⑩校長(代表者)承認書)」の監督欄に指示されている印を付け、必要事項を記入する。

なお、部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれない。

※1→ここでいう「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者をいう。

(2) 全中大会では外部指導者(コーチ)をおくことができる。外部指導者(コーチ)は、出場校の校長が適切であると認めた者とし、「全国中学校体育大会引率細則による提出文書」の様式6「外部指導者(コーチ)確認書(校長承認書)」に必要事項を記入し、大会事務局に参加申込み時に提出する。ただし、当該校以外の中学校教職員は、外部指導者(コーチ)にはなれない。(地域クラブ活動は該当しない)

(3) スキーの外部指導者(コーチ)は、同一人が複数校の外部指導者を兼ねることは差し支えない。

(4) 全中大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること、地域クラブ活動の指導者においては、日本スポーツ協会公認指導者の処分等に該当していない者であることとしている。校長(代表者)はこの点を確認して、書類番号⑩「校長(代表者)承認書」を作成する。なお、外部指導者(コーチ)は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。

(5) 全中大会の参加について、校長・教員・部活動指導員が引率できないと校長が判断した場合、「全国中学校体育大会引率細則」により、校長が適切であると承認した外部指導者(コーチ)に引率及び監督の資格を認める。※ただし、安易に引率者として外部指導者(コーチ)の引率を認めるものではない。

(6) 監督を他校の教員に依頼しなければならない場合、当該校の校長と当該中学校体育連盟競技専門部が協議し、当該校の校長が監督を引き受けた教員の校長と本人に文書で依頼する。この手続きは「全国中学校体育大会引率細則による提出文書」の様式7～11をもって行う。ただし、依頼監督に引率資格はない。

14 表彰

(1) 各競技種目1位～10位まで(女子スペシャルジャンプ・女子ノルディックコンバインドは1位～6位)に賞状を、さらに1位～3位までに(公財)全日本スキー連盟よりメダルを授与する。

(2) クロスカントリー競技男女リレーの優勝チームには、文部科学大臣より盾及び(公財)日本中学校体育連盟よりトロフィーを授与する。

15 参加申込

(1) 申込期限

【一次申込】

出場確認書 : 大会事務局へメール送信 令和6年9月30日(月) 必着

宿泊一次申込: 大会公式HPの宿泊申し込みフォームより 令和6年9月30日(月) 必着

【正式申込】

Eメール: 令和7年1月21日(火) 正午必着 書類発送: 令和7年1月21日(火) 消印有効

(2) 申込先

大会要項P8、19 その他(6)に記載の【問い合わせ先(参加申込先)】を参照

(3) 申込書類

【一次申込】

書類番号① 出場確認【一次申込】及びクロスカントリーテント持ち込み数調査

【正式申込】

書類番号② 出場確認書【正式申込】

③ 各競技参加選手一覧

④ 種目別申込書(GS・SL・SJ・NC・CC・CF)

⑤ 種目別申込書(リレー)

⑥ 選手団役員・監督・外部指導者・引率者名簿

⑦ 参加料、プログラム・公式記録集申込一覧表【学校(チーム)用】

⑧ プログラム・公式記録集申込一覧表【都道府県用】

⑨ 申込金額一覧表

⑩ 正式申込書類チェック表

⑪ 校長(代表者)承認書

⑫ 引率細則による提出文書(様式6)※外部指導者(コーチ)をおく学校のみ

⑫ 引率細則による提出文書(様式7)※他校に監督依頼する学校のみ

*④⑤「種目別申込書」のデータに基づいて抽選を行います。エントリーフォームの手順・注意事項を熟読し、作成してください。

*⑦「参加料、プログラム・公式記録集申込一覧表【学校(チーム)用】」は、各校(各チーム)から都道府県申込責任者に提出してください。

*⑪「校長(代表者)承認書」に記載の氏名、学年、所属校(チーム)名を優先してプログラム、賞状に採用します。

*⑫様式6・様式7ともに、地域クラブ活動で参加するチームは、提出の必要はありません。

(4) 申込方法 ※申込はすべて申込責任者が代表して行うこと。

【一次申込】

(ア) 書類番号①を大会事務局へメール送信する。郵送の必要なし。

(イ) クロスカントリー競技について、実行委員会からのテント、ストーブの有料貸し出しは行わない。(レンタル業者を斡旋する)各都道府県とも最大4張まで持ち込むことを認めるので持ち込みテント数を記入する。※現地に共用テントを設置予定

(ウ) 宿泊一次申込(概数)は、大会公式HP宿泊関係内の「宿泊申し込みフォーム」より行う。

【正式申込】

(ア) 書類番号②~⑫を大会事務局に申し込む。ただし、書類番号⑫は外部指導者(コーチ)をおく学校のみ様式6を、他校に監督依頼した学校のみ様式7を大会事務局に送付する。

(イ) 書類番号②③④⑤⑥⑧⑨⑩⑪をメール送信する。

※種目別申込書④⑤と校長(代表者)承認書⑪で名前等の文字が異なっていることが多く、抽選会やプログラム原稿作成に支障をきたすため、事務局確認用として校長承認書⑪については、PDF化したものを他の申込書類と一緒にメール送信すること。

(ウ) 書類番号⑪⑫は、郵送またはデータ(フルカラー・解像度300dpi以上のものであれば、PDF化したものを原本として認める)をメール送信する。

(エ) 郵送の場合、封筒の表には「第62回全国中学校スキー大会申込書在中」と朱書きすること。

(オ) 都道府県ランキングは必ず上位から記入すること。また、記入のない場合は異議を認めない。

(カ) 正式申込後の選手交替およびランキングの変更は認めない。

(キ) 宿泊の正式申込は、宿泊事務局より案内される申込用紙に必要事項を記入の上、申込責任者が宿泊事務局へデータ送信すること。

(ク) 全国大会開催可能13道県(北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、群馬、新潟、富山、石川、岐阜、鳥取)は、大会運営役員として1名を選出すること。

※13名の3セッションへの割り振り先は、一次申込後に申込責任者に連絡する。
※正式申込期限までに氏名登録ができない場合は、決まり次第報告のこと。(期限 1/31(金)正午)

16 抽 選

- (1) 日 時 令和7年1月24日(金)10時00分より
(2) 会 場 「野沢温泉村公民館大広間」
〒389-2502 長野県下高井郡野沢温泉村豊郷9167番地
TEL: 0269-67-0708 FAX: 0269-85-2618
(3) 抽 選 主催者及び開催地実行委員会の代表抽選とする。

17 諸 会 議

【組織委員会】

令和7年2月3日(月)15時00分より 野沢温泉村公民館

【監督・コーチ会議】 ※出席者は各都道府県代表1名のみとします。

令和7年2月3日(月)16時00分より 野沢温泉公民館またはオンライン(アルペン)

令和7年2月4日(火)8時00分より 野沢温泉シャンツェ(ジャンプ)

令和7年2月4日(火)13時00分より 野沢温泉村公民館(クロスカントリー)

【スキー競技部会】

令和7年2月4日(火)16時30分より 野沢温泉村公民館

18 宿 泊

宿泊は別紙「宿泊要項」による。適切な危機管理対応(感染症・自然災害等)を確保するため、必ず大会実行委員会指定の業者を通して申し込むこと。(指定外の宿泊施設の利用は、原則認められない。)
※外部指導者(コーチ)が選手団として宿泊する場合は、書類番号⑥「選手団役員・監督・外部指導者・引率者名簿」に記載すること。

19 そ の 他

- (1) 大会期間中の負傷・疾病に関しては、応急処置のみを行う。また、本大会は「独立行政法人日本スポーツ振興センター法」の定めを適用する。
(2) 上記の(1)とは別に対人補償を伴うスキー保険、スポーツ傷害保険、またはこれに準ずる保険に加入していること。
(3) 参加者は健康保険証を持参することが望ましい。
(4) 本大会において代表となった選手が都道府県名を示すワッペン(記章)をレーシングスーツにつける場合は、次のとおりとする。
(ア) ワッペンの表記は漢字とし、都道府県名のみとする。
(イ) 生地は白黒のみとする。
(ウ) 字の色は黒もしくは都道府県カラーとする。
(エ) ワッペンのサイズは縦6cm、横12cm以内とする。
(オ) 一人1枚とする。
(5) 来会受付は大会事務局(野沢温泉村公民館)において、2月2日(日)~2月4日(火)の8:00~17:00とする。やむを得ず時間外の受付となる場合はあらかじめ連絡をすること。ビブやプログラム・大会参加賞等を渡すので、参加人数が多い都道府県は複数人で来会することをお勧めします。
(6) 問い合わせ先(参加申込先)
<競技に関すること> ※基本的に都道府県中体連事務局、競技部を通じて問い合わせること。
【大会事務局】開設時間 9:00~16:00

〒389-2502 長野県下高井郡野沢温泉村豊郷9167番地 野沢温泉村公民館内
第62回全国中学校スキー大会 実行委員会事務局 担当: 前澤健太
TEL: 0269-67-0708 (12月以降)、0269-67-0383 (11月末日まで: 野沢温泉中学校)
FAX: 0269-85-2618 (12月以降)、0269-67-0384 (11月末日まで: 野沢温泉中学校)
Eメール: nozawa.zenchu@gmail.com 大会公式HP: <https://nozawazenchu.com/>

<宿泊に関すること> ※基本的に都道府県選手団申込責任者を通じて問い合わせること。

【宿泊事務局】

〒389-2502 長野県下高井郡野沢温泉村豊郷5043番地3
一般社団法人 野沢温泉マウンテンリゾート観光局 第62回全国中学校スキー大会 宿泊事務局
Eメール: travel@nozawakanko.jp

「全国中学校体育大会引率細則」

本細則が適用されるのは、学校事情により、校長・教員・部活動指導員が引率できないと校長が判断した場合に適用するものである。安易に引率者として外部指導者（コーチ）の引率を認めるものではない。

(1) 引率者としての外部指導者（コーチ）の規定

- ① 当該校の校長が適切であると認めた20歳以上の成人であり、日頃から指導に当たっている者のことをいう。なお、事前に校長との間で外部指導者（コーチ）としての契約がなされていること。
- ② 引率者としての外部指導者（コーチ）は、各大会の申込用紙（書類番号⑩校長（代表者）承認書）の引率者欄に必要事項を記入すること。
- ③ 引率者としての外部指導者（コーチ）に規定違反、不適切な言動等があったときは、不適格者として都道府県中学校体育連盟会長または競技部長（専門委員長）から当該校の校長に連絡し、資格を取り消す。
- ④ この規定以外のことは、各競技専門部の規定及び大会要項の通りとする。

(2) 引率者としての外部指導者（コーチ）の引率については、全中大会の全競技に適用する。

(3) 引率者としての外部指導者（コーチ）には、監督の資格を認める。

その手続きは、書類番号⑩校長（代表者）承認書の監督欄への必要事項記入をもって行う。

引率者としての外部指導者（コーチ）が監督を辞退する場合は、当該校の校長と当該中学校体育連盟競技専門部が協議し、当該校の校長が監督を引き受けた教員の所属長（校長）と本人に文書で依頼する。その手続きは、引率細則による提出文書⑫様式7、8、9、10、11をもって行う。

(4) 生徒の大会出場に関する全責任は、校長が負う。

(5) 引率上の留意点及び大会会場における留意点

① 引率上の留意点等

- ア 引率時は、公の交通機関を利用する。
- イ 外部指導者（コーチ）は任意の傷害保険等に加入する。加入手続きは外部指導者（コーチ）が行い、費用は原則として自己負担とする。
- ウ 引率者としての外部指導者（コーチ）の費用は、原則として自己負担とならないようにする。
- エ 生徒の服装、持ち物等については、各学校のきまりに従う。
- オ 大会の結果と帰校報告を、帰宅後、直ちに行う。
- カ 宿泊する場合は、学校（大会本部）より指示された宿舎とする。
- キ その他、引率に必要な事項を指導する。

② 大会会場における留意点等

引率者は次のことに留意する。特に引率者として相応しくないと大会本部が判断した場合は退場を命ずる。チーム・選手は失格となることもある。

- ア 大会要項を順守し、責任ある行動をとる。
- イ 各競技会場の使用上のきまりに従う。
- ウ ゴミ等は持ち帰りを原則とするが、会場使用規定に従う。

※この細則の内容変更については、令和5年4月1日より施行する。

式典・表彰要項

1 趣 旨

ウイルス性疾患の感染や感染拡大を防ぐため、人の移動や集合を避け、式典や表彰式について可能な限りコンパクトにし、競技の成立に重点を置いた運営をする。

2 基本方針

- (1) 開会式・閉会式は行わず、各競技会場での開始式とする。
- (2) 表彰式は各競技会場で行う。

3 開始式について

- (1) 期 日 令和7年2月4日(火) アルペン：男子ジャイアントスラローム競技開始前
令和7年2月5日(水) ジャンプ：男女スペシャルジャンプ競技開始前
クロスカントリー：女子クラシカル競技開始前
- (2) 会 場 各競技会場
- (3) 方 法 場内放送による主催者あいさつおよび競技開始宣言
※各競技の競技開始方法に則って行う。
アルペン：前走後
ジャンプ：ジュリーメンバー紹介後
クロスカントリー：前走後

4 入賞者の表彰について

- (1) 各競技種目1位～10位まで（女子スペシャルジャンプ・女子ノルディックコンバインドは1位～6位）に賞状を、さらに1位～3位までに（公財）全日本スキー連盟のメダルを授与する。
- (2) クロスカントリー競技男女リレーの優勝チームには、文部科学大臣より盾及び（公財）日本中学校体育連盟よりトロフィーを授与する。
- (3) 賞状等の受け渡しには、スキー用具等は持ち込まない。
- (4) 賞状等の受け渡しは以下の通りとし、種目ごと競技終了後に現地にて行う。

日 に ち	種 目	表 彰 会 場
2月4日(火)	男子ジャイアントスラローム	各競技会場 <アルペン> 野沢温泉スキー場カンダハーコース <ジャンプ> 野沢温泉シャンツェ <ノルディックコンバインド> 野沢温泉南原クロスカントリーコース <クロスカントリー> 野沢温泉南原クロスカントリーコース
2月5日(水)	女子ジャイアントスラローム 男子スペシャルジャンプ 女子スペシャルジャンプ 男子クラシカル 女子クラシカル	
2月6日(木)	男子スラローム 男子ノルディックコンバインド 女子ノルディックコンバインド 男子フリー 女子フリー	
2月7日(金)	女子スラローム 男子リレー 女子リレー	

- (5) 受付は、各競技会場表彰場所付近にて行う。
 (6) 賞状は、各競技会場にて、実行委員会事務局により筆耕する。
 (7) 賞状等必要数 * () 内は筆耕枚数

	賞状	メダル	トロフィー	盾	備考
	実行委員会	(公財)全日本スキー連盟	(公財)日本中体連	(公財)日本中体連	
男子ジャイアントスラローム	13 (10)	3			
女子ジャイアントスラローム	13 (10)	3			
男子スラローム	13 (10)	3			
女子スラローム	13 (10)	3			
男子スペシャルジャンプ	13 (10)	3			
女子スペシャルジャンプ	9 (6)	3			6位入賞
男子ノルディックコンバインド	13 (10)	3			
女子ノルディックコンバインド	9 (6)	3			6位入賞
男子クラシカル	13 (10)	3			
女子クラシカル	13 (10)	3			
男子フリー	13 (10)	3			
女子フリー	13 (10)	3			
男子リレー	45 (40)	12	1	1	盾：文部科学大臣賞
女子リレー	45 (40)	12	1	1	
合計	238 (192)	60	2	2	

5 挨拶、挨拶文等の依頼について

区分	内容	挨拶者等	依頼者(各事務局)
開始式	主催者あいさつ	(公財)日本中学校体育連盟	(公財)日本中体連
	競技開始宣言	(公財)長野県スキー連盟	長野県実行委員会

区分	内容	挨拶者等	依頼者(各事務局)
プログラム	あいさつ	(公財)日本中学校体育連盟会長 (公財)全日本スキー連盟会長 長野県教育委員会教育長	(公財)日本中体連 長野県実行委員会 長野県中体連
	祝辞	スポーツ庁長官 長野県知事	(公財)日本中体連 長野県中体連
	歓迎のことば	野沢温泉村長 (公財)長野県スキー連盟会長 長野県中学校体育連盟会長	長野県実行委員会 長野県実行委員会 長野県実行委員会
	生徒歓迎のことば	野沢温泉中学校生徒	長野県実行委員会

令和6年度全国中学校体育大会 第62回全国中学校スキー大会宿泊要項

本大会に参加する選手・監督・外部指導者・引率者（以下「選手団」という）の宿泊に関して万全を期するため、必要な事項を定めるものとする。

1 基本方針

- (1) 第62回全国中学校スキー大会実行委員会（以下「実行委員会」という）の宿泊基本方針に従って実施する。
- (2) この要項の適用対象者は、本大会に参加する選手団とする。
- (3) 宿泊の申込窓口・手配作業は「一般社団法人野沢温泉マウンテンリゾート観光局」が行う。
- (4) 選手団の宿泊場所は申込窓口指定宿舍とする。指定された宿舍の変更は一切認めない。

2 選手団の宿泊について

(1) 宿舍割り当ての方針

- ①参加者の宿泊は野沢温泉村内および近隣市町村の宿泊施設をあてる。
- ②参加者の宿泊は都道府県単位を原則とするが、やむを得ず他県および一般客と同宿になる場合は、利用スペースや時間を分けるなど特に配慮するものとする。
- ③宿泊料金については、下記の通り宿舍タイプ別にA・Bの料金とするが、宿泊施設に限りがあるため、配宿に関しては申込窓口に一任する。

(2) 宿泊料金（協定料金）

①宿泊料金適用期間

令和7年2月2日（日）～2月6日（木）の宿泊とする。

②宿泊料金については次のとおりとする。※浴衣、歯ブラシ、タオル等（アメニティ用）は含まない。

区分	施設の区分	1泊2食（消費税込・入湯税別）
A	旅館	13,200円
B	民宿	9,900円

③欠食については原則として認めない。

④取り消し等

正式申込後の変更及び取り消し等については、野沢温泉マウンテンリゾート観光局へ宿泊者名簿に変更事項を記入し、データ送付すること。

⑤昼食について

弁当の斡旋は行いません。

3 宿泊の申し込み及び変更または取り消し

(1) 宿泊の申し込み

- ①全国中学校スキー大会公式ホームページ、宿泊申し込みフォームよりお申し込みください。
- ②一次申込にて、宿泊申し込みフォームより宿泊概数人数等の必要事項を入力し、9月30日（月）までに申し込みすること。仮宿舍が決まり次第、申込責任者へご案内をメールにてご連絡いたします。ただし、正式申し込みの人数により、宿舍が変更となる場合がございますので、ご了承ください。
- ③正式申込は、申込責任者へご案内した申込用紙に必要事項を記入の上、下記申込先へデータ送付すること。

【申込先】

大会公式HP <https://nozawazenchu.com/> E-mail travel@nozawakanko.jp

〒389-2502 長野県下高井郡野沢温泉村豊郷5043番地3

【一般社団法人野沢温泉マウンテンリゾート観光局】

- ・宿泊一次申込締め切り 令和6年9月30日（月）正午（必着厳守）
- ・宿泊正式申込締め切り 令和7年1月21日（火）正午（必着厳守）

(2) 宿泊決定通知等

申込締め切り（令和7年1月21日）以降、宿泊担当係より『宿泊手配通知書』を各都道府県宿泊申込責任者へデータ送信する。

(3) 宿泊の取り消し料金

予約を取消された場合、下記の取消料をいただきます。

- ・正式申込締切以降に解除する場合 20%
- ・旅行開始日の前日から起算してさかのぼって7日目以降に解除する場合 30%
- ・旅行開始日の前日に解除する場合 40%
- ・旅行開始当日に解除する場合 50%
- ・旅行開始後の解除又は無連絡不参加の場合 100%

※宿泊については申込泊数分が1つの旅行契約となり、取消料は合計旅行代金に対して適用します。

(事務手数料込) 宿泊開始後は100%となり、返金はありません。

※取消基準日は17時のメール着信時とさせていただきます。17時以降の着信につきましては翌営業日の取扱いとさせていただきます。なお、お電話での変更取消はトラブル防止のためお受けできません。必ずメールにてお問い合わせください。

4 宿泊料金の支払い方法

各都道府県一括で、旅行開始日の3日前までに下記口座に振り込むこと。

※振り込み手数料は自己負担とする。

※宿泊料等に関する領収書については、事前に申し込みがある場合は各都道府県名にて発行します。

また、領収書が学校単位等で必要な場合は、各都道府県での対応とします。

金融機関名：ながの農業協同組合	金融機関番号：5499		
支店名：野沢温泉支所	支店番号：073	口座の種類：普通	口座番号：0035697
口座名義：一般社団法人野沢温泉マウンテンリゾート観光局代表理事小田切美幸 シャ)ノザワオンセンマウンテンリゾートカンコウキョクダイヒョウリジオタギリミュキ			

5 返金について

ご入金後にお客様都合による変更・取消等の事由により返金が生じた場合、大会終了後、ご指定の口座に振込にてご返金致します。返金先の指定口座情報については、変更・取消等の事由により返金が生じた段階でお伺いをさせていただきます。尚、返金の際に生じる振込手数料については、野沢温泉マウンテンリゾート観光局にてご負担申し上げます。

6 食事

(1) 食事の基本

①大会参加者に提供する食事は、栄養バランスのとれた大会実施本部作成の《基本メニュー》により提供する。

②郷土色を盛り込んだ食事を提供するよう努める。

(2) 食事の時間

宿舎は宿泊者と綿密な連絡をとり、競技等に支障をきたさないよう時間調整を行うものとするが、朝食は6:00以降の提供とする。

(3) その他

衛生面の観点から自炊等、宿舎での調理は禁止とします。

7 参加者の留意事項

(1) 火災には特に注意し、非常時に対応するため避難口等を必ず確認しておくこと。

(2) スキーの手入れ場所は、宿舎の指示に従って行うこと。

(3) 宿舎についての希望や要望・問題点は、所属の責任者を通して宿舎と協議すること。

(4) 宿舎での発病の際は、『医療・救護要項』により適切な処置をすること。

(5) 宿舎利用の際は整理整頓に努めること。

8 その他

(1) 個人情報の取扱いについては、個人情報の保護に関する法令を順守し、申し込まれた方との連絡や宿泊の手続き等に必要な範囲内でのみ利用します。

(2) 宿舎の寝具等の取扱いは、定期的に交換し、衛生面に十分配慮する。

(3) 宿舎における飲料の料金は、各施設で定めた料金による。

(4) 衛生面の観点から宿舎の家庭用洗濯機の貸出は行いません。必要な場合は村内のコインランドリーを利用してください。

(5) 宿泊者以外の者が宿舎の許可なく出入りする事は禁止とする。

(6) 部屋では30分に1回程度換気をする。

(7) むやみに宿舎内の自室以外の部屋を出入りしない。

令和6年度全国中学校体育大会 第62回全国中学校スキー大会
災害等緊急対応要項

1 目的 全国中学校体育大会の開催地において、自然災害・緊急事態（重大事故・食中毒及び感染症等）が発生した場合の対応について万全を期することを目的とする。
 また、自然災害・緊急事態の発生に際しては、実行委員会だけでは対応困難の状況も考えられる。関係者（主催者・長野県・野沢温泉村・関係機関等）が緊密な連携をとり、迅速かつ的確、適切に対応することを目的とする。

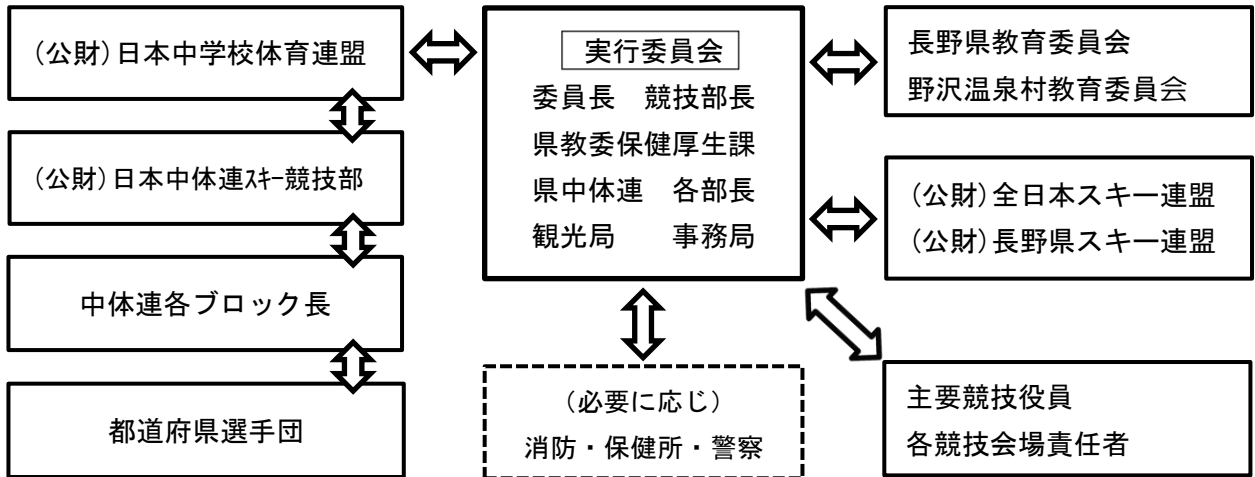
2 内容 自然災害・緊急事態（重大事故：死亡事故、後遺症発生事故及び食中毒、感染症等）への対応対応。

3 方法

- (1) 自然災害・緊急事態発生の際は、実行委員会事務局が連絡対応の窓口として対応する。
- (2) 長野県教育委員会は保健厚生課が中枢となり、災害発生時への対応の指示指導をする。
- (3) 実行委員会事務局（長野県中学校体育連盟事務局）は、全国中学校体育大会の準備期間中に、（公財）日本中学校体育連盟本部及び諸関係機関と連携の体制作りをする。
- (4) 関係諸機関との連携のもとに、報告・連絡・相談を基本に対応対応には万全を期する。
- (5) 実行委員会にて、具体的な要項を作成し徹底を期する。
- (6) 予知・回避（予防）・対応・再発防止等、危機管理について万全を期する。

4 具体的対応のあり方

(1) 緊急時連絡経路



(2) 緊急時連絡窓口者

- | | |
|---------------|------------------------|
| ・(公財)日本中体連 | － 専務理事・事務局長・競技部長 |
| ・(公財)全日本スキー連盟 | － 全国大会派遣者・開催地担当者 |
| ・長野県教育委員会 | － 保健厚生課長・学校体育係長・担当指導主事 |
| ・野沢温泉村教育委員会 | － 教育長・教育次長・生涯学習係 |
| ・長野県中学校体育連盟 | － 会長・理事長・事務局長 |
| ・宿泊担当業者 | － 野沢温泉マウンテンリゾート観光局 |

(3) 情報収集

緊急時には、どの内容においても的確な情報が必要である。迅速に正確な情報を収集把握し、関係諸団体に連絡し、対策本部を立ち上げ、具体的な対策を協議する。(発生現場責任者からの一報を受けた実行委員会事務局は、ただちに協議し関係諸団体と連絡をとる。)

(4) 対策本部設置

実行委員会委員長が、長野県教育委員会及び野沢温泉村教育委員会等と協議し、早急に対策本部を立ち上げ設置する。その際の、非常参集要因は、上記緊急時連絡経路のある関係諸団体及び緊急時連絡窓口者、担当者とする。

(5) 報告事項(内容)

次の内容を報告する。

- ⑤ 発生状況(被害状況) ②発生日時 ③発生場所 ④対象者(人的・物的・気象的状況等)
- ⑤初期対応状況等 ⑥対策本部設置状況(必要性も検討)

(6) 報道対応

報道に関しては、窓口の一本化を図る。統括責任者は、実行委員会委員長とする。

- (ア) 報道関係については、実行委員会が対応する。(長野県教育委員会・野沢温泉村教育委員会と協議)
- (イ) 実行委員会は、野沢温泉村教育委員会及び(公財)日本中体連本部にも報告・連絡し、指示・指導のもとに対応対応する。
- (ウ) 実行委員会は、正確な情報を収集し、参加各都道府県選手団への情報提供を行い、混乱を招かない配慮をする。競技部長、(公財)全日本スキー連盟へも併せて報告する。
- (エ) 状況に応じた確かな判断のもとに、対応対応のあり方を検討する。

(5) 発生状況別対応(中止・中断等の判断)

A自然災害

- (ア) 大規模な災害(地震、雪崩等)に関しては、長野県災害本部と連絡を図り、実行委員会事務局に本部を置き、関係機関との連絡をとりながら検討、対応する。
- (イ) 通常時の自然災害に関しては、競技続行かどうかの判断は、(公財)日本中体連・(公財)全日本スキー連盟・長野県教育委員会・実行委員会が協議し決定する。原則として参加選手・役員が安全が確保困難な状況の場合は、競技を中止する。

- ・(公財)日本中体連 - 担当理事・競技部長
- ・(公財)全日本スキー連盟 - 全国大会派遣者・開催地担当者
- ・長野県教育委員会 - 保健厚生課長・学校体育係長・担当指導主事
- ・実行委員会(県中体連) - 委員長・理事長・事務局長

※決定後の連絡

- ・参加都道府県選手団 - 選手の学校、選手の自宅(各学校・チーム引率者)
- ・宿泊担当者 - 宿泊先、宿泊輸送関係調整、連絡
- ・競技会場 - 施設の安全管理
- ・実行委員会 - 迅速に状況把握、報告、関係機関への連絡

◎競技中の避難場所

<一次避難場所>

◇アルペン競技会場	緊急時集合場所…競技会場内フィニッシュエリア付近
◇ジャンプ競技会場	緊急時集合場所…競技場アウトラン内
◇クロスカントリー競技会場	緊急時集合場所…競技場スタジアム中央付近

<二次避難場所及び連絡先>

	避難場所・避難所	住所	電話	収容可能人数
1	野沢温泉スパリーナ	豊郷6748	0269-85-4567	700
2	野沢温泉村公民館	豊郷9167	0269-85-2168	8,000
3	野沢温泉小学校	豊郷4313	0269-85-2142	5,000

◎宿泊先で自然災害等が起きた場合

- ①緊急地震速報（Jアラート）が入る。地震が起きる。
↓
- ②宿泊先での指示に従う。
↓
- ③大会本部は、今後の実施の判断を行う。
↓
- ④各選手団に今後の実施等についての連絡を行う。
(各宿泊先や避難所に連絡する。電話が不通の場合は、手分けして直接連絡する。)
↓
- ⑤各選手団監督は、選手の安全を確認して、実行委員会事務局に報告する。

◎避難所・避難場所一覧【野沢温泉村のホームページ、防災マップにて確認のこと】

◎大規模震災で選手団が二次避難、そして各都道府県に戻った際の報告

- ・各都道府県責任者は、選手団の無事と安全確保確認後、各都道府県で取りまとめて実行委員会事務局に報告する。

【緊急時連絡先】

〒389-2502 長野県下高井郡野沢温泉村大字豊郷9817 野沢温泉村公民館内
第62回全国中学校スキー大会実行委員会事務局
TEL：0269-67-0708（大会事務局専用）

B 重大事故

- (ア) 緊急疾患傷害等、特に心肺停止状況等に関しては、初期応急対応は事故発生現場で関係団体が医療・救護要項に沿って順次、進める。AEDについては、必ず習熟、確保し対応できる体制にする。
- (イ) 事故・事件による死亡・後遺症を伴う傷害については、警察等への緊急連絡とともに、実行委員会から関係機関等への報告、連絡は速やかに進める。競技会場においては、放送等の指示により不必要な混乱を招かないように配慮し、安全を確保する。特に、長野県教育委員会、野沢温泉村教育委員会には、詳細を確実に報告、連絡する。

C 食中毒

食中毒発生の時間・場所によるが、保健所・医療機関と連絡を取り、指示指導を受け対応する。重大事故等への対応については、対策本部を設置し対応する。

(ア) 宿泊先

- ・ 宿舍が対応と緊急措置を行う。(宿泊担当業者と連携して、食事メニューの保存、保健所等への連絡を行う。)
- ・ 同日に複数会場で発生した場合は、実行委員会と連携を図り対応する。
- ・ 実行委員会は、正確な情報の収集とともに、参加各都道府県選手団への情報提供を行う。また、(公財)日本中体連と連携を図り、緊急時連絡経路に従って関係機関等へ逐次報告連絡する。
- ・ 報道関係については、長野県教育委員会の指示指導のもとに対応を検討し、進める。(窓口の一本化)

(イ) 会場

- ・ 昼食(弁当)、売店等に疑いのある場合は、宿泊担当業者・売店事業者・実行委員会で対応を進める。医療機関への搬送等を優先する。朝食に原因が考えられる場合には、宿舍・宿泊担当業者と連絡を取り対応を進める。

D 感染症

(ア) 大会開催期間中に、感染の疑い、症状のある場合には、ただちに医療機関に搬送する。医療機関の指示指導を受け、感染拡大防止等の対応をする。同宿舍内の選手等の状況を確認する。実行委員会は、関係機関に報告連絡するとともに、医療機関・保健所等の指示指導のもとに対応対処する。

(イ) 大会開催3ヶ月から3週間前までに感染症の感染拡大により、新型インフルエンザ等特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令された場合の中止等の判断は、全大会もしくは一部大会を問わず、(公財)日本中体連・(公財)全日本スキー連盟・長野県教育委員会・野沢温泉村教育委員会・長野県スキー連盟・長野県中学校体育連盟・実行委員会で協議後に、(公財)日本中学校体育連盟理事会を招集し、決定する。

(ウ) 3週間前から大会直前については、(公財)日本中体連盟会長(専務理事)・(公財)全日本スキー連盟・長野県教育委員会・野沢温泉村教育委員会・長野県スキー連盟・長野県中学校体育連盟・実行委員会で協議し、決定する。

(エ) 各都道府県選手団の参集が困難な場合(申込済参加都道府県の1/4以上)は、上記ウと同様に扱う。

(オ) 報道関係については、上記に準ずる。

医療・救護要項

本大会に参加する選手団（選手・監督・外部指導者・引率者）及び一般応援者並びに大会運営に従事する者に対する安全確保と、医療救護の万全を期するために、競技会場に救護所を設置し、医療機関との連携を図ることを目的とする。

1 基本的事項

本大会実行委員会は、医師会・医療機関・保健所・消防署等と十分な連絡調整を行い、密接な連携のもとに業務を遂行するものとする。

- (1) 大会期間中バックアップ病院を指定し、大会関係者の受診の便宜を図る。
- (2) 医療機関へは、都道府県の引率責任者または監督・引率者が付き添うものとする。
- (3) 医療機関での受診に要する費用は、すべて受診者の負担とする。ただし、大会期間中の負傷・疾病については、状況により「独立行政法人日本スポーツ振興センター法」の定めを適用する。健康保険証を持たずに受診したときは、原則、医療費は全額自己負担となる。
- (4) 必要に応じて救急車を要請する。

2 救護所における救護

(1) 救護所の設置

大会期間中、下記の会場に救護所を設置する。

野沢温泉スキー場カンダハーコース

責任者 アルペン競技委員長

野沢温泉シャンツェ

責任者 ジャンプ・コンバインド競技委員長

南原クロスカントリーコース

責任者 クロスカントリー競技委員長

- (2) 救護所には、救護係（保健師または看護師免許を有する者）を配置する。
- (3) 救護所では、応急処置のみ行うものとし、必要に応じて医療機関に移送する。
- (4) 救護所には、応急処置に万全を期するため、医薬品・医療器具・その他必要な物品を備えるものとする。
- (5) 練習中など、救護所が未開設時に負傷発病した場合は、競技会場の係員等に申し出ること。

3 宿舎等における医療及び救護

宿泊する施設等で発病または負傷し、医療機関で受診する場合は、宿舎に申し出た上、都道府県の引率責任者または監督・引率者が最寄りの医療機関と連絡を取り受診するものとする。

4 救急要請『119番』

○飯山消防署野沢分署 長野県下高井郡野沢温泉村大字豊郷 9110-2

電話 0269-85-4119

FAX 0269-85-3050

5 医療機関

診療機関名・住所・TEL	診療科	診療時間	休診日
野沢医院 野沢温泉村大字豊郷9323 0269-85-2010	整形外科 内科	8:30～12:30 15:30～17:30	日曜、祝日 第1, 3, 5土曜 金曜午後、土曜午後
安部医院 野沢温泉村大字豊郷9780-4 0269-67-0502	内科 外科 消化器内科	8:30～12:00 14:30～17:30	日曜、祝日、第1, 3, 5土曜 第1, 3, 5金曜午後、木曜午後 第2, 4土曜午後
富井歯科医院 野沢温泉村大字豊郷4374-1 0269-85-2347	歯科 小児歯科	8:00～12:00 14:00～17:00	日曜、祝日 土曜午後
飯山赤十字病院 飯山市大字飯山226-1 0269-62-4195	総合 救急（※）	8:30～11:30 (受付時間)	土曜、日曜、祝日
北信総合病院 中野市大字西1-5-63 0269-22-2151	総合 救急（※）	8:00～11:30 8:00～11:00(土) (受付時間)	日曜、祝日 第1, 3, 5土曜

※救急診療に対応している病院については、事前に電話にて相談するようお願いいたします。

6 事故発生時の対応について

- (1) 大会関係者の事故の対応については、大会実施本部を中心に、各会場救護責任者および競技委員長がその対応にあたる。
- (2) 各会場を総括した窓口は大会実施本部事務局（大会事務局）とし、その対応にあたる。
- (3) 事故発生時の対応

①事故者の生命・安全の確保を第一とし、救護所または医療機関へ搬送し、治療を受けさせる。
【対応者：当該校（チーム）の監督・引率者、宿舍責任者】

②事故者の状況は、総括窓口（大会実施本部事務局）に電話、またはFAXで報告する。（第1報）
その後の経過を第2報、第3報として報告する。
さらに当該校（チーム）の引率責任者または校長（代表者）に報告する。
【対応者：当該校（チーム）の監督・引率者、宿舍責任者】

③各会場へ診察（治療）経過および結果を報告する。（第1報）
その後の経過を第2報、第3報として報告する。 【対応者：総括窓口担当者】

④当該校（チーム）へ報告する。必要に応じ当該市町村教育委員会教育長へ報告する。
【対応者：当該校（チーム）の引率責任者、監督・引率者または選手団長】

⑤保護者へ報告する。 【対応者：当該校長（代表者）または引率責任者】

⑥必要に応じて、総括窓口（大会実施本部事務局）は外部との対応にあたる。

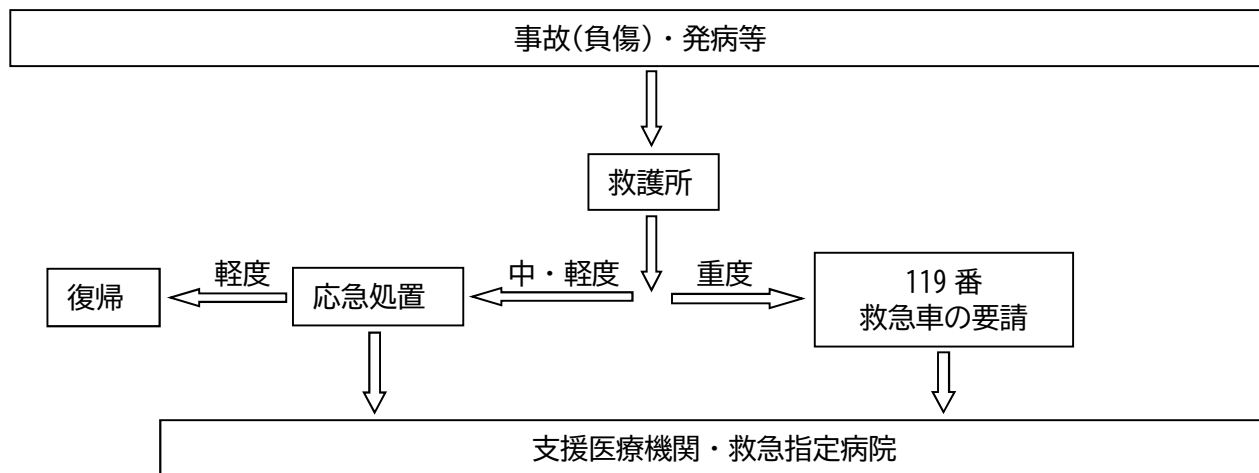
【対応者：全体は事務局長 各種目は競技委員長】

さらに事故対策本部が必要な場合は、大会実施本部総務部に設置し、関連部局との連絡調整と外部との対応にあたる。

【対応者：実行委員会委員長、事務局長】

7 緊急時の連絡および事故者搬送経路

宿 舎	競技会場		
	カンダハーコース	野沢温泉シャンツェ	南原クロスカントリーコース
【救護責任者】 監督 または 引率者	【救護責任者】 A P 競技委員長 救護所 フィニッシュハウス 医務係 スキーパトロール	【救護責任者】 J P 競技委員長 救護所 ジャンプハウス 医務係 スキーパトロール	【救護責任者】 X C 競技委員長 救護所 ゴールハウス 医務係 スキーパトロール



※救護所未開設時に事故（負傷）・発病した場合は、競技会場の係員等に申し出ること。

8 AED設置場所

- ・アルペン競技会場 → カンダハーフィニッシュハウス
- ・ジャンプ競技会場 → ジャンプハウス
- ・クロス競技会場 → 南原ゴールハウス
- ・大会事務局 → 野沢温泉村公民館

9 事故対応に関する周知徹底

- (1) 各競技の監督・コーチ会議において周知する。
- (2) 事前に宿泊斡旋事務局を通じて宿舎に依頼・周知を図る。
- (3) 大会関係者は、事故の未然防止に万全を期す。さらに無理のない参加または練習体制を構築するものとする。加えて、季節性のインフルエンザやコロナウイルス感染症、ノロウイルスの感染防止に努める。

インフルエンザ・コロナウイルス感染症・感染性胃腸炎対策について

1 趣旨

流行が懸念される「インフルエンザ」や「コロナウイルス感染症」また、「感染性胃腸炎」の予防と集団感染の防止を目的とする基本的な指針とする。

2 インフルエンザ・コロナウイルス感染症予防、感染防止の対策

(1) 感染の実際

【飛沫感染】咳やくしゃみなどに含まれるウイルスを鼻や口から吸い込んで感染する。

※咳やくしゃみのしぶき（飛沫）は約2m飛ぶ。

【接触感染】ウイルスが付着したもの（ドアなど）を触った手で、口や目などの粘膜に触れることで感染する。

(2) インフルエンザ

①潜伏期間は1～4日

②症状（ウイルスによって変わる可能性有り。最新の情報に留意する。）

・発熱（38℃以上）

・関節の痛み、筋肉痛、喉の痛み、頭痛、全身の倦怠感、鼻水（鼻汁）または鼻づまり、咳など

③出席停止期間は「発症後5日（発症日が0日目）、かつ解熱後2日を経過するまで」

(3) コロナウイルス感染症

①潜伏期間は1～14日（多くは5日程度）

②症状（感染しても症状が出ない可能性もあるため感染予防を心がける）

・発熱

・鼻水、喉の痛み、咳などの呼吸器症状、嗅覚異常や味覚異常など

③出席停止期間は「発症後5日（発症日が0日目）、かつ症状が軽快後1日を経過するまで」

(4) 予防措置

①手洗い、うがいの励行

・外出後は、手洗いと共に必ずうがいをする。

・流水と石けんによる手洗い（30秒以上）を行い、清潔なタオルなどで水を十分拭き取る。

②アルコールによる手指消毒

③マスクの着用

・不織布マスク1日1枚使い捨てが理想。

④人ごみを避ける。

・不要不急の外出、大人数・長時間の集まりや会食をできるだけ避ける。

⑤換気

・宿舍や移動中の車内等の密閉空間では、定期的に窓を開け換気を心がける。

⑥健康管理、健康状態の観察（チェック）

・監督、引率者等の責任において、別紙【様式①】健康観察記録票により参加選手等の健康観察および記録を行い、健康管理に努める。

3 感染性胃腸炎予防、感染防止の対策

(1) 感染の実際

①ノロウイルスが蓄積した、カキなどの二枚貝を十分に火を通さずに食すと感染する。

②感染者の便や嘔吐物に含まれるノロウイルスが口に入り込み感染する。ノロウイルスは乾燥することで空気中に舞い上がり、直接口に入ることもある。また、調理器具などを介してノロウイルスが付着した食品を食べることで感染する。

(2) 感染性胃腸炎（ノロウイルス感染症など）

①潜伏期間は1～3日

②症状

- ・嘔吐と下痢が主な症状で、人により発熱や腹痛を伴うこともある。
- ・感染しても全員発病するわけではなく、軽い風邪症状で済む人もいる。

③出席停止期間の基準は「病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで」

(3) 予防措置

①頻繁な手洗い

- ・特にトイレの後や食事の前。石けんを使い、十分泡立てて手を洗う。
- ・手洗いタオルの使い回しは厳禁。個人用の準備をする。
- ・感染者が出た場合など、蛇口が汚れている場合もある。手洗い時に蛇口を洗うか、手洗いは直接触れない工夫をする。

②調理での対策

- ・二枚貝の取り扱いは生食用を選び、十分な加熱をする。（食品の中心部85℃以上で1分以上）
- ・調理器具の十分な殺菌を行い、使い回しをしない。
- ・調理者の体調管理、手袋の使用、手洗いを徹底する。

③嘔吐物や排せつ物の処理

- ・処理する際は、マスク・ビニール手袋・エプロンを着用する。また、十分な換気をする。
- ・乾燥する前に静かに素早く拭き取る。
- ・0.1%次亜塩素酸ナトリウム（薄めた洗濯用漂白剤など）で消毒する。

④掃除の徹底

- ・十分な拭き掃除をし、状況によっては定期的な消毒をする。

⑤症状が出たときの対策

- ・感染拡大を防止するため、「症状がある人は、最後に浴槽に入るかシャワーのみにする」「塩素消毒後、他のものと分けて最後に洗濯をする」など、入浴・洗濯・掃除等で十分な対策をとる。

4 受診

健康観察により、上記2の(2)(3)、3の(2)のような症状が確認された場合は、直ちに医療機関（医療・救護要項に記載）を受診し、指導を受ける。受診の際は、事前に医療機関に電話連絡をする。

5 報告（大会事務局）

医療機関において受診後、感染の有無に関わらず、別紙【様式②】受診報告書に必要事項を明記し、大会事務局に提出する。

6 二次感染予防措置（蔓延を防ぐ）

(1) 感染者及び発病者について

大会の参加については、不参加とする。医療機関での診察、治療。関係機関の指導を受け、宿舎での隔離、入院、帰宅等の措置をする。（この際、監督・引率者は、保護者、学校等に連絡する）都道府県の責任者または監督・引率者は、別紙【様式③】感染症罹患届書を作成し、大会事務局に提出する。

(2) 濃厚接触者（感染の恐れのある者を含む）について

症状が確認されない場合であっても、関係機関（医療機関）の指導指示を受ける。大会への出場については、状況を再確認し、当該選手団・参加各校（チーム）の責任者の責任と判断に委ねる。ただし、決して無理はさせない配慮をする。また、症状が確認された場合は、速やかに受診、報告を（上記に順じ）をする。

- (3) 感染者および発病者（感染の恐れのある者を含む）を隔離する際の宿泊については、宿泊担当旅行者（野沢温泉マウンテンリゾート観光局）を必ず通すこと。
- (4) 二次感染の対応については、医療機関・行政（教育委員会）・保健所・（公財）日本中体連・実行委員会等で確認、指示指導の徹底を図る。
- (5) 感染が確認された場合等、医療機関の治療および指導を受けた後に、安全に当該選手、関係校（チーム）を帰宅させることを配慮しなければならない。
- (6) インフルエンザやコロナウイルス感染症等に感染し、出席停止扱いとなる場合、当該期間中は大会には参加することができない。
- (7) 学校閉鎖、学級閉鎖等の状況にある大会参加校・選手については、状況を正確に把握するために、当該校（チーム）全体の健康観察を迅速かつ的確に実施し、得られた情報を踏まえ、医療機関・当該市町村教育委員会・当該中学校（チーム）・当該中体連等で慎重に審議し、選手・チーム等の派遣の可否を決定する。（その旨、大会事務局に報告する。）

7 諸帳簿関係

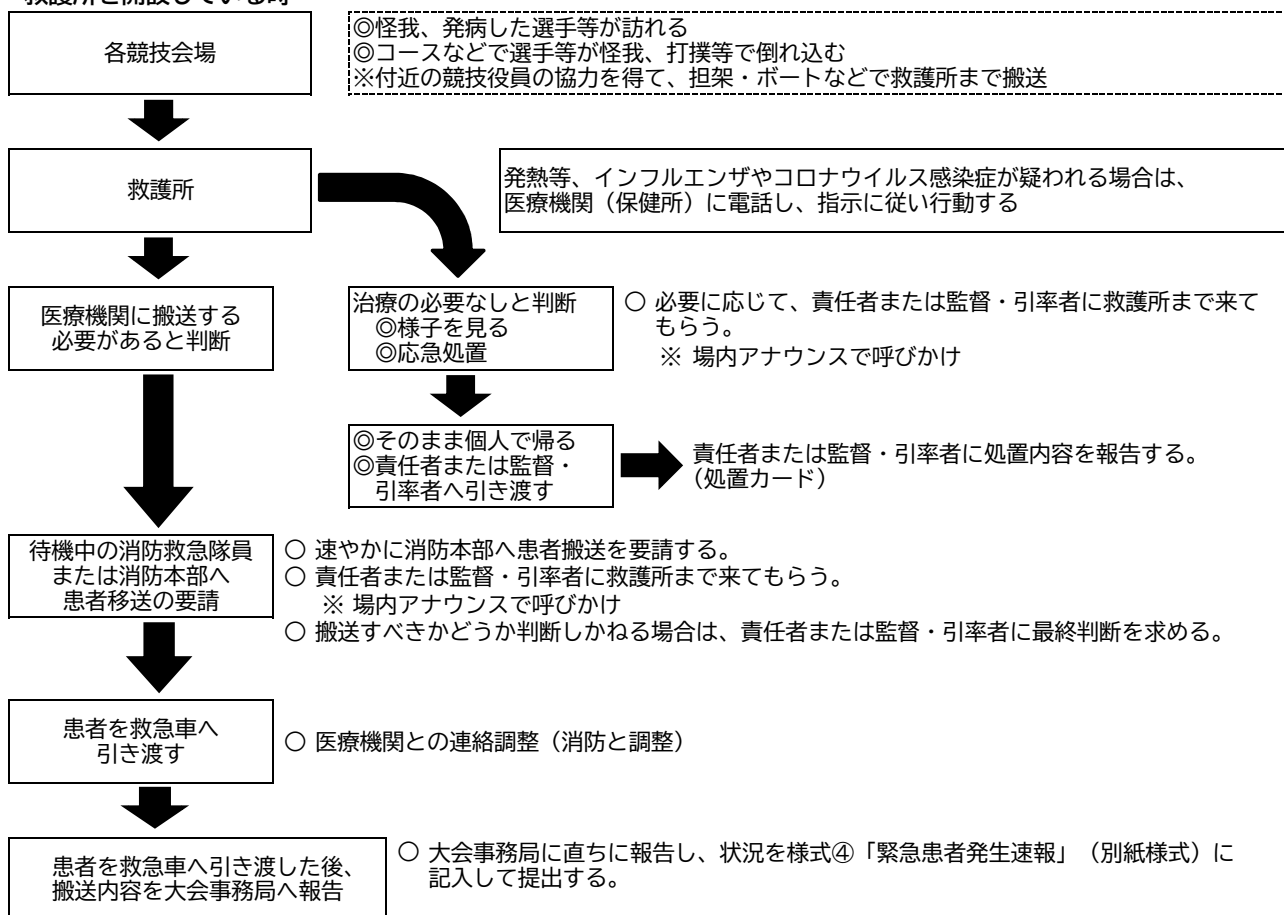
- 【様式①】健康観察記録票
- 【様式②】受診報告書
- 【様式③】感染症罹患届書

8 その他

- (1) 大会に参加する以前の対応については、都道府県中体連および各教育委員会、参加各校（チーム）の配慮に委ねる。
- (2) 不参加の届け出があった場合の補充の大会出場について
 - ①正式申込前
補充については、当該中学校体育連盟および競技部に一任する。
 - ②正式申込後
補充のための大会出場は認めない。

医療・救護連絡系統図

1 救護所を開設している時



2 救護所を開設していない時

(1) 練習中の負傷・発病等

- ① 救護所が未開設時に負傷・発病した場合、競技会場内の競技役員等に選手または監督・引率者が申し出る。
 - 大会事務局等で、応急処置並びに責任者等への連絡をする。
- ② 競技役員等は、患者搬送が必要と認められる場合、責任者または監督・引率者が必要と判断した場合、救急車の要請をする。
 - 患者搬送が行われた場合、大会事務局に電話で直ちに報告し、状況を様式④「緊急患者発生速報」に記入して提出する。

(2) 宿舎での負傷・発病等

- ① 宿泊する施設等で負傷・発病し、医療機関で受診する場合は、宿舎に申し出た上、各都道府県の責任者または監督・引率者が最寄りの医療機関と連絡を取り受診する。
 - 医療機関を受診した場合は、様式②「受診報告書」を、受診の結果、感染症や食中毒と診断された場合は、大会事務局に電話で報告し、翌日8:00までに様式③「感染症等罹患届書」を大会事務局に提出する。
- ② 都道府県の責任者または監督・引率者が必要と認めた場合は、救急車を要請し、搬送する。
 - 責任者または監督・引率者は、患者搬送が行われた場合、大会事務局に電話で直ちに報告し、様式④「緊急患者発生速報」を記入して大会事務局に提出する。

3 インフルエンザやコロナウイルス感染症、感染性胃腸炎、食中毒が疑われる場合

(1) インフルエンザやコロナウイルス感染症が疑われる場合

- ① 発熱、咳、咽頭痛などの症状が確認された場合は、速やかに医療機関を受診する。（事前に電話連絡）
 - 責任者または監督・引率者は、医療機関を受診した場合は様式②「受診報告書」を、受診の結果、インフルエンザ等の感染症と診断された場合は、大会事務局に電話で報告し、様式③「感染症等罹患届書」を大会事務局に提出する。さらに、その旨を宿舎にも報告する。

(2) 感染性胃腸炎や食中毒が疑われる場合

- ① 嘔吐や下痢などの症状が確認された場合は、速やかに医療機関を受診する。（事前に電話連絡）
 - 責任者または監督・引率者は、医療機関を受診した場合は様式②「受診報告書」を、受診の結果、ノロウイルス等の食中毒と診断された場合は、大会事務局に電話で報告し、様式③「感染症等罹患届書」を大会事務局に提出する。さらに、その旨を宿舎にも報告する。

(様式①)

健康観察記録票

都道府県名

学校(チーム)名

番号	名前	体温	呼吸器症状(○で囲む)	呼吸器以外の症状(○で囲む)	備考
1			なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳 その他()	なし・下痢・嘔吐・頭痛 その他()	
2			なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳 その他()	なし・下痢・嘔吐・頭痛 その他()	
3			なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳 その他()	なし・下痢・嘔吐・頭痛 その他()	
4			なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳 その他()	なし・下痢・嘔吐・頭痛 その他()	
5			なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳 その他()	なし・下痢・嘔吐・頭痛 その他()	
6			なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳 その他()	なし・下痢・嘔吐・頭痛 その他()	
7			なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳 その他()	なし・下痢・嘔吐・頭痛 その他()	
8			なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳 その他()	なし・下痢・嘔吐・頭痛 その他()	
9			なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳 その他()	なし・下痢・嘔吐・頭痛 その他()	
10			なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳 その他()	なし・下痢・嘔吐・頭痛 その他()	
11			なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳 その他()	なし・下痢・嘔吐・頭痛 その他()	
12			なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳 その他()	なし・下痢・嘔吐・頭痛 その他()	
13			なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳 その他()	なし・下痢・嘔吐・頭痛 その他()	
14			なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳 その他()	なし・下痢・嘔吐・頭痛 その他()	
15			なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳 その他()	なし・下痢・嘔吐・頭痛 その他()	

※都道府県または学校(チーム)ごとに、監督・引率者の責任において、参加選手等の健康観察および記録を行い、健康管理に努める。

※健康観察により、上記のような症状が確認された場合は、医療機関を受診し、指導を受ける。

(様式②)

受診報告書

第62回全国中学校スキー大会 () 競技

報告日 令和7年 月 日 ()

都道府県名		
受診者	氏名	男・女 (歳)
	学校・チーム (学年)	(年)
	学校住所 チーム住所 電話番号	〒 (電話 - -)
宿泊先		
保護者名 ※生徒の場合		
症状発生年月日	令和7年 月 日 () 午前・午後 時 分頃	
主な症状		
受診医療機関名		
診断結果	1. () と診断されました。 2. () の疑いがあると診断されました。 3. () の感染はありませんでした。 4. その他 ()	
医師からの指示事項等		
報告者 (記載者)	氏名	
	役職	
	宿泊先	
	緊急連絡先	

<提出> 受診翌日、8:00までに大会事務局（村公民館内）へ本用紙を提出する。

FAXでの提出も可 ※ただし、必ず電話での確認もすること

TEL 0269-67-0708

FAX 0269-85-2618

(様式③)

感染症等罹患届書

第62回全国中学校スキー大会（ ）競技

このことについて、下記の通り届け出いたします。

記

都道府県名		
区 分	選手・監督・外部指導者・引率者・役員・その他（ ）	
受診者	氏 名	男 ・ 女（ 歳）
	学校・チーム (学年)	(年)
	学校住所 チーム住所	〒
	電話番号	(電話 - -)
宿泊先		
保護者名 ※生徒の場合		
受診日時	令和7年 月 日（ ）午前 ・ 午後 時 分頃	
受診医療機関名		
診断結果		
症状の経過		
医師からの指示事項等		
報告者 (記載者)	氏 名	
	役 職	
	宿 泊 先	
	緊急連絡先	

- <報告・提出> ①感染症への罹患が判明したら、大会事務局に一報を入れる。
②翌日、8:00までに大会事務局（村公民館内）へ本用紙を提出する。

F A Xでの提出も可 ※ただし、必ず電話での確認もすること

T E L 0269-67-0708 F A X 0269-85-2618

(様式④) **緊急患者(救急搬送)発生速報**
(第 報)

第62回全国中学校スキー大会 () 競技

報告日		令和7年	月	日 ()
報告時間		午前・午後	:	
都道府県名				
患者氏名	氏名	男・女 (歳)		
	学校・チーム (学年)	(年)		
	学校住所 チーム住所 電話番号	〒 (電話 - -)		
宿泊先				
保護者名 ※生徒の場合				
発生日時	令和7年	月	日 ()	午前・午後 : 頃
発生場所				
主な症状				
受診(予定)医療機関名				
現在の状況				
経過				
医師の診断 指示事項等				
報告者 (記載者)	氏名			
	役職			
	宿泊先			
	緊急連絡先			

<報告・提出> ①緊急な状況が発生したら、速やかに大会事務局に一報を入れ、本用紙を提出する。

FAXでの提出も可 ※ただし、必ず電話での確認もすること

TEL 0269-67-0708 FAX 0269-85-2618

交通輸送要項

本大会に参加する選手団（選手・監督・外部指導者・引率者）、大会役員、視察員、報道関係者及び一般応援者の交通輸送に万全を期すために、次の通り基本的な事項を定めるものとする。

1 会場地までの往復

(1) JR利用の場合

大会参加のJR輸送について、特別な列車編成は行わず定期列車等を利用するものとする。

下車駅はJR飯山線飯山駅、新幹線の場合は北陸新幹線飯山駅とする。駅から宿舎までの輸送については、公共輸送機関(路線バス・タクシー)を利用するなど各都道府県選手団で手配すること。

(2) 航空機利用の場合

松本空港を利用する場合は、直通の交通機関がないので、各都道府県選手団で手配すること。

(3) 自動車利用の場合

宿舎まで自家用車を利用する場合は、大会事務局で実施する事前調査でその旨を予告するものとする。(最寄りのIC 上信越経由「豊田飯山IC」25分、関越道経由「塩沢石打IC」70分)

2 宿舎から競技会場への輸送

各競技会場への移動は、各都道府県選手団で行うこと。

3 交通対策

(1) 交通規制

①各会場周辺では、必要に応じて交通規制を行う。

②大会関係車両についても、交通規制に従い、交通安全に努めるものとする。

(2) 自動車の利用

寒冷積雪地域のため路面が凍結、積雪状態となるので、スリップ事故等を防止するため、スタッドレスタイヤ、タイヤチェーン等を整備するものとする。

(マイクロバスでお越しの各都道府県選手団は、タイヤチェーンを常備していること。)

4 駐車場(料金については変更の可能性あり)

(1) アルペン会場 第1駐車場(長坂) 平日日帰り無料 休日(普1,000円 中2,000円 大3,000円)

(2) ジャンプ会場 第1駐車場(長坂) 平日日帰り無料 休日(普1,000円 中2,000円 大3,000円)

(3) クロスカントリー会場 第3駐車場(南原) 日帰り無料

※積雪状況などによって変更になる場合があるので、駐車場係員の指示に従ってください。

※スパリーナは商業施設となっておりますので、大会関係車両の駐車は絶対にやめてください。

(4) 大型バスでお越しの選手団へ

中央ターミナルをご利用になる際は予約が必要です。また、路線バスの発着が優先となるため、利用可能時間にも制限があります。乗車利用の場合は有料(1回1台1,000円) ※降車は無料

5 リフト搭乗扱い

(1) 一般料金(中学生はこども料金)に準ずる。ただし、令和7年2月2日(日)から2月7日(金)の期間、監督・外部指導者(コーチ)の利用については、別に大会料金を適用する。

※大会料金、発売場所、発売時間等については、大会ホームページ庶務連絡にてお知らせします。

(2) 大会役員・競技役員・視察員・補助員・協力隊・サービスマン・報道関係者は、別途 IC カードを大会事務局にて用意する。この IC カードは、大会終了後確実に同事務局に返却すること。

(3) 割引券・引換券については利用できない。

6 各会場図(別紙の通り)

※カンダハーコースに向かう際、スキー場が運営するナスキー号には乗車しないでください。

動く歩道「遊ロード」(所要時間約10分)を使用すると、温泉街から日影グレンデまで無料で行くことができます。

※大会期間中、搭乗時間を早めるリフト等があります。詳しくは、大会ホームページ庶務連絡にてお知らせします。

7 タクシーのご案内

会社名	電話	乗用車	ワゴン車	営業時間
のざわ温泉交通	0269-85-3333	○	○	8:00~22:00 (18:00~22:00 予約のみ)

○印車の取り扱いを行っております

- ゴンドラ
- リフト
- 遊ロード(動く歩道)
- 公共電話
- チケットセンター
- トイレ
- 上級者コース
- 中級者コース
- 初級者コース
- ポール(要予約)
- コース
- ナイター
- パトロール
- ジップスカイライド
- スキースクール
- レンタル
- 託児所
- 更衣室・スキーロッカー
- インフォメーション
- シャトルバス乗場
- 駐車場
- レストラン

- 新雪エリア(非運営)
- スキー場管理区域
- スキー場管理区域外
- 立入禁止エリア
- 自己責任特別エリア(やまびこ)

※マップ上にコース・ゲレンデ名が入っていない部分については、スキー場管理区域外ですので立ち入らないで下さい

ゲレンデ・コース

1	やまびこゲレンデAコース	1,300m
2	やまびこゲレンデBコース	800m
3	やまびこゲレンデCコース	850m
4	やまびこゲレンデDコース	1,250m
5	やまびこゲレンデEコース	1,000m
6	小毛無ゲレンデAコース	200m
7	小毛無ゲレンデBコース	200m
8	上ノ平ゲレンデ	2,000m
9	上ノ平ゲレンデファミリーレーン	800m
10	パラダイスゲレンデ	1,200m
11	湯の峰ゲレンデAコース	800m
12	湯の峰ゲレンデBコース	700m
13	水無ゲレンデAコース	800m
14	水無ゲレンデBコース	700m
15	ブナ林コース	2,500m
16	ジュナイダーコース	1,500m
17	チャレンジコース	1,200m
18	チャレンジ39度のかべ	300m
19	ユートピアAコース	400m
20	ユートピアBコース	350m
21	林間コース	5,000m
22	牛首コース	1,200m
23	黒鞍コース	550m
24	カンダハーゲレンデ西コース	990m
25	カンダハーゲレンデ東コース	990m
26	スカイラインコース	3,500m
27	グランプリコース	800m
28	ジャンピングAコース	500m
29	日影ゲレンデAコース	600m
30	日影ゲレンデBコース	200m
31	日影のかべ	200m
32	伊勢谷ゲレンデ	350m
33	長坂ゲレンデ	700m
34	向林コース	200m
35	橋沢ゲレンデ	3,000m
36	はちまんコース	250m
37	林間コース(ショートカット)	250m
38	長坂連絡コース	1,000m
39	グマタカコース	1,300m
40	キツネコース	650m
41	橋沢連絡コース	1,050m
42	カモシカコース	950m
43	ウサギコース	900m
44	野沢温泉コース	500m
45	野沢温泉ジャンツェ	
46	オリンピックスポートパーク 南原クロスカントリーコース	

ゴンドラ・リフト

1	長坂ゴンドラリフト	3,129m	11	ユートピアベアリフト	401m
2	日影ゴンドラリフト	2,274m	12	カンダハーベアリフト	872m
3	やまびこフォアリフト	1,097m	13	日影フォアリフト	523m
4	やまびこ第2フォアリフト	732m	14	遊ロード(動く歩道)	288m
5	スカイライン連絡ベアリフト	198m	15	日影トリプルリフト	201m
6	上ノ平フォアリフト	1,752m	16	長坂トリプルリフト	271m
7	パラダイスフォアリフト	934m	17	長坂フォアリフト	664m
8	湯の峰ベアリフト	623m	18	長坂ゴンドラ連絡ベアリフト	431m
9	水無トリプルリフト	547m	19	橋沢ベアリフト	1,031m
10	チャレンジベアリフト	1,223m	20		

アルペン会場
(カンダハーコース)

ジャンプ会場
(野沢温泉ジャンツェ)

クロスカントリー会場
(南原クロスカントリーコース)

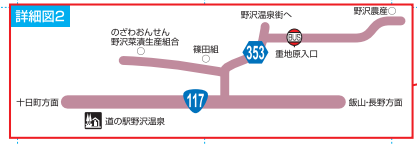
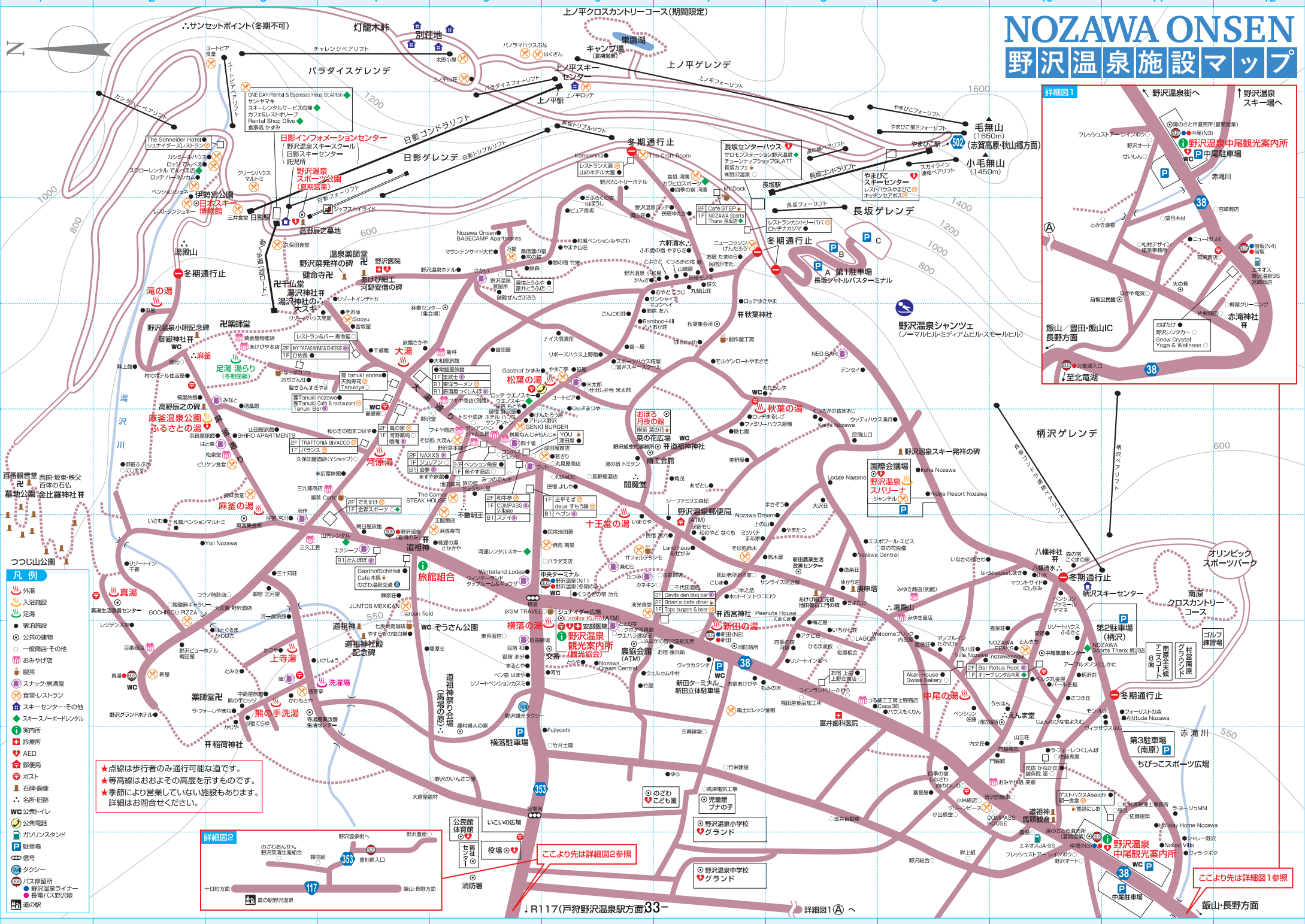
大会事務局
(野沢温泉村公民館)



観光案内所
中尾駐車場
第2駐車場(朝沢)
第3駐車場(南原)

高山 小布施 奥野 豊田 飯山 IC

NOZAWA ONSEN 野沢温泉施設マップ



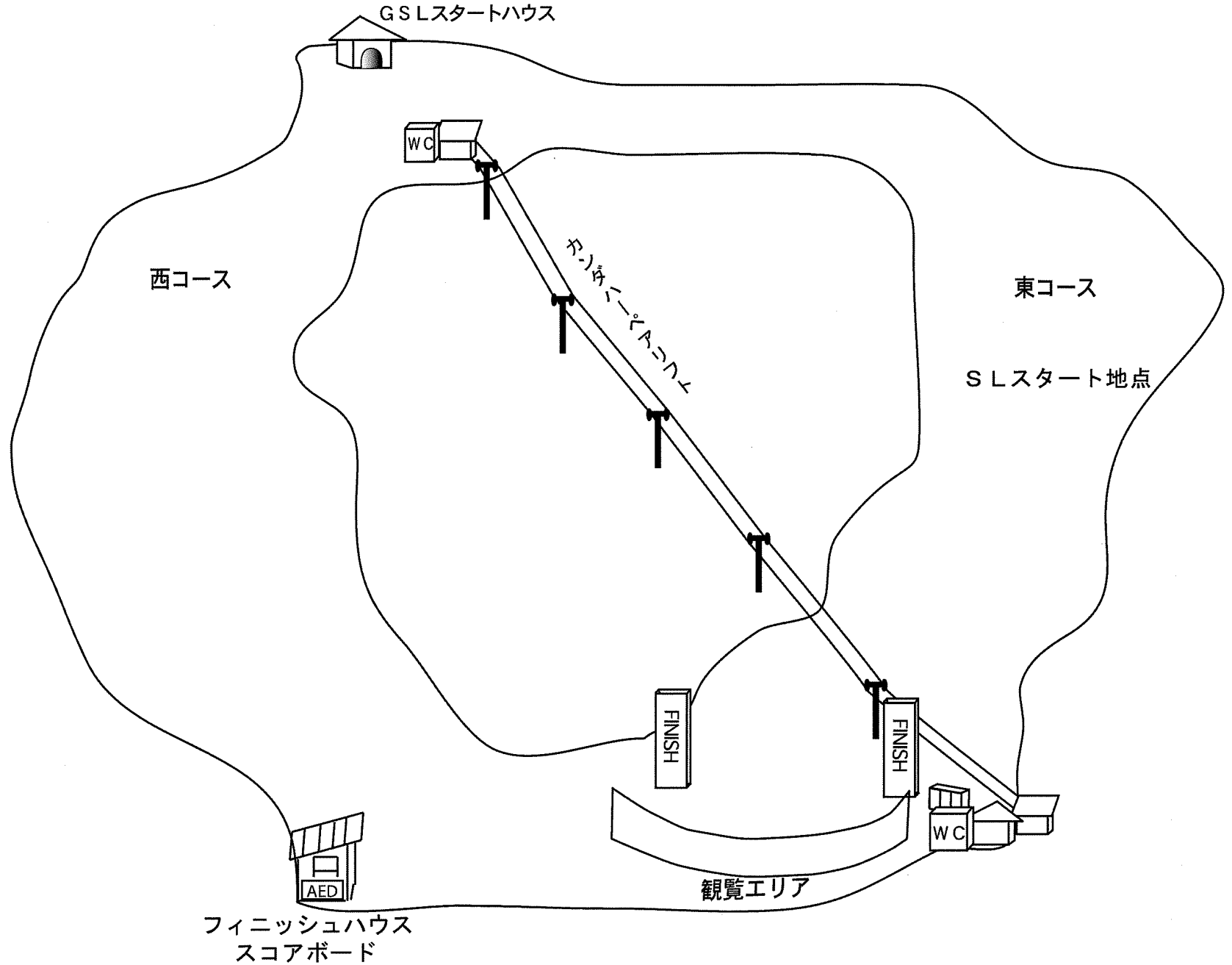
- ★点線は歩行者のみ通行可能な道です。
- ★等高線はおおよその高度を示すものです。
- ★季節により営業していない施設もあります。詳細はお問合せください。

- ### 凡例
- 外湯
 - 入浴施設
 - 宿泊施設
 - 公共の建物
 - 一般商店その他
 - おみやげ店
 - 喫茶
 - スナック/居酒屋
 - 食堂/レストラン
 - スキーセンターその他
 - スキーボード/レンタル
 - 案内所
 - 診療所
 - AED
 - 郵便局
 - ポスト
 - 石碑/銅像
 - 名所/旧跡
 - WC 公衆トイレ
 - 公衆電話
 - ガソリンスタンド
 - 駐車場
 - タクシー
 - バス停留所
 - 野沢温泉ライナー
 - 長坂/バス野沢線
 - 湯の駅

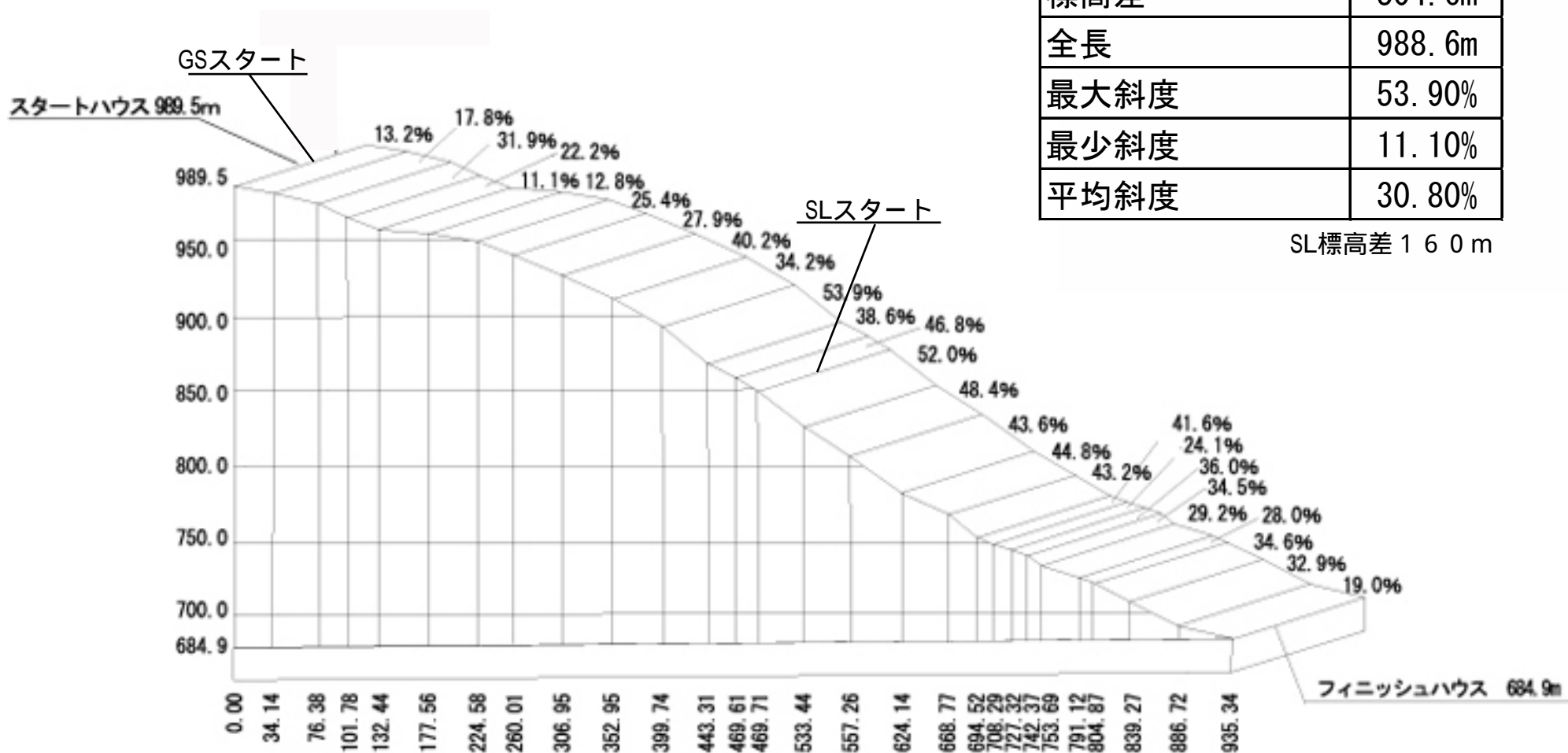
↓R117(戸狩野沢温泉駅方面)33- 詳細図1(A)へ

↑R117(戸狩野沢温泉駅方面)33- 詳細図1(A)へ

カンダハーコース会場図

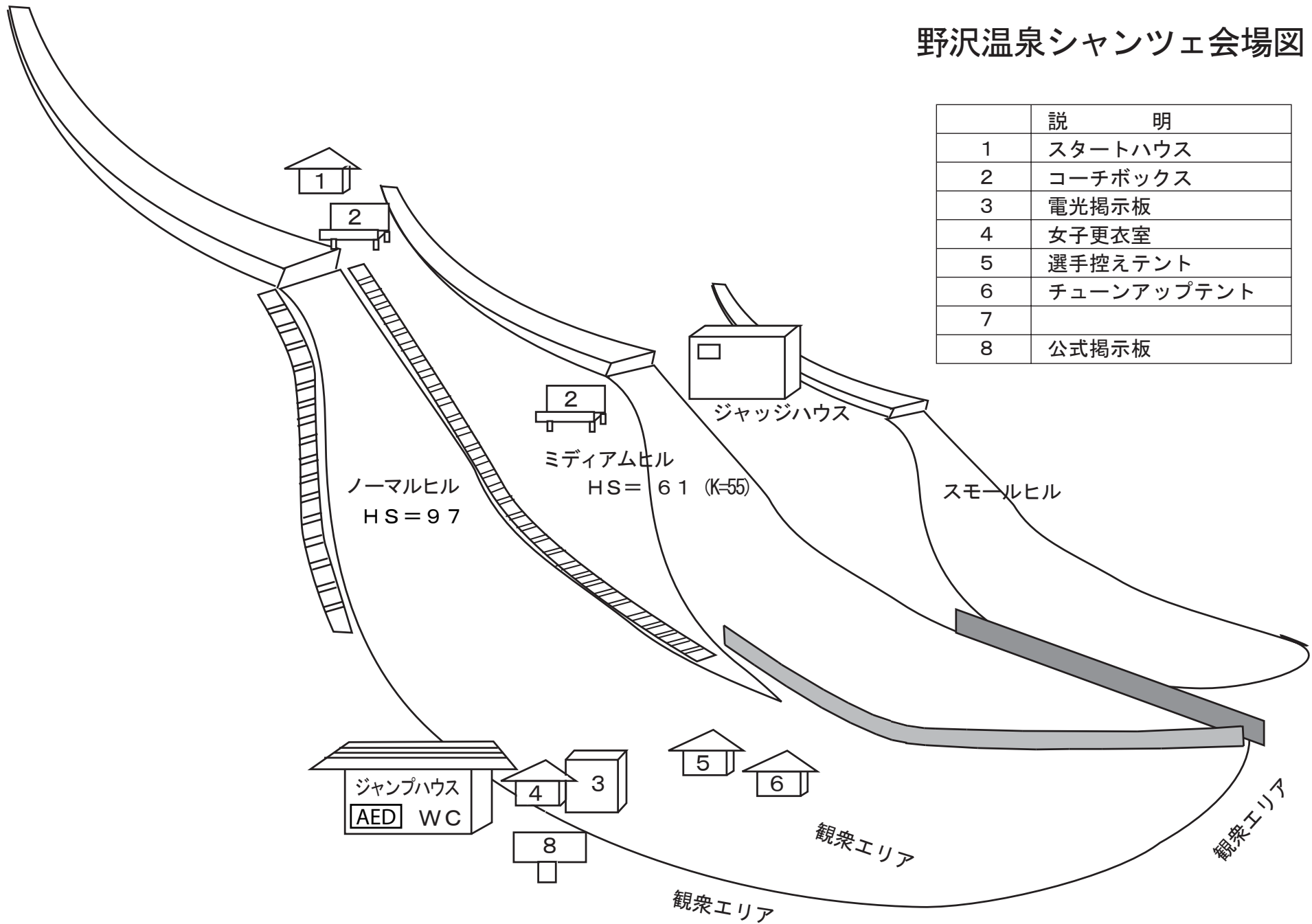


全日本スキー連盟公認 カンダハー東コース プロフィール



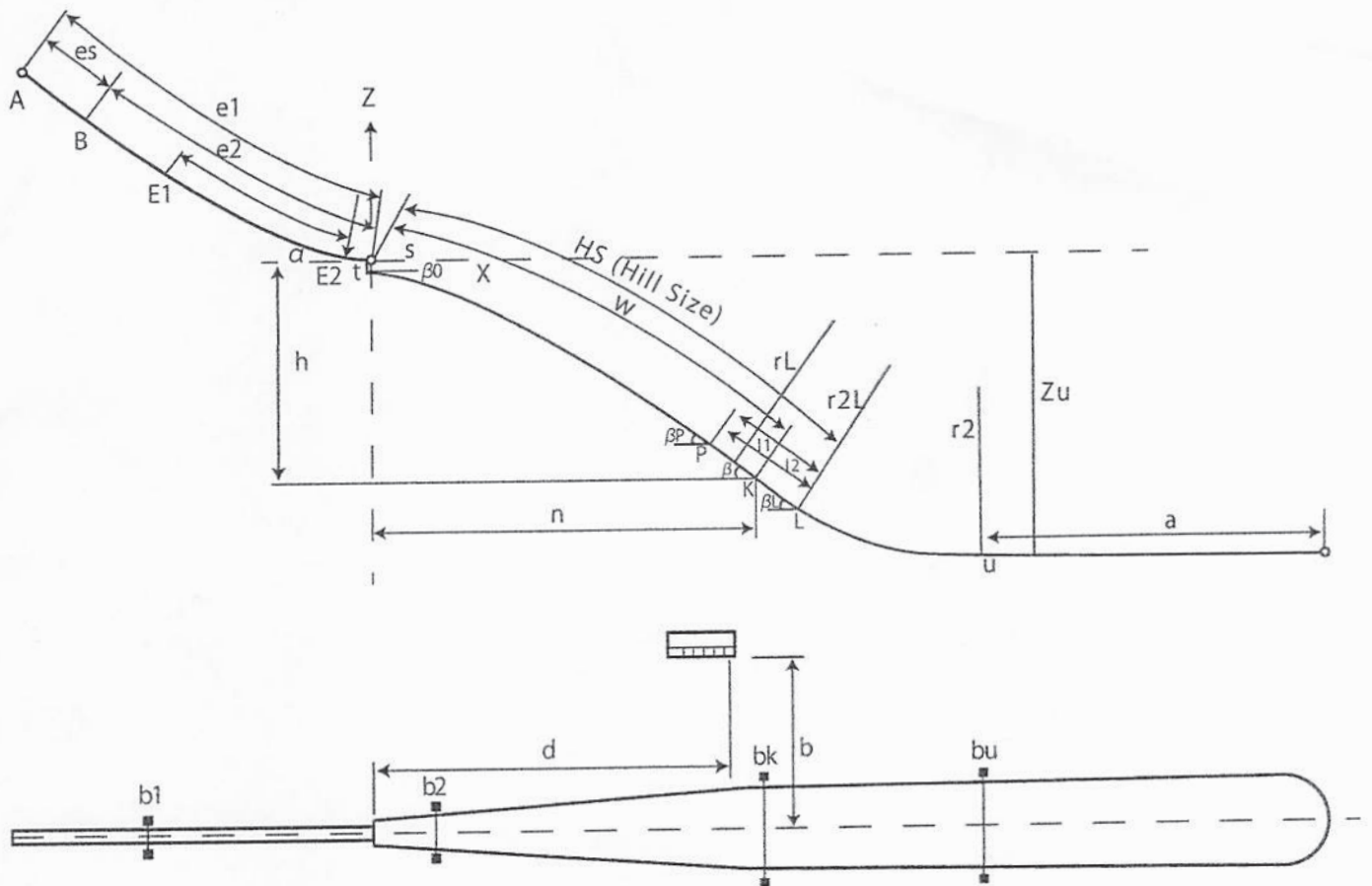
野沢温泉シャンツェ会場図

	説明
1	スタートハウス
2	コーチボックス
3	電光掲示板
4	女子更衣室
5	選手控えテント
6	チューンアップテント
7	
8	公式掲示板



野沢温泉シャンツェ ミディアムヒル (HS=61)

プロフィール



In-run

$V_0 = 20.500 \text{ m/s}$

$e_1 = 59.902 \text{ m}$

$e_2 = 45.902 \text{ m}$

$es = 14.000 \text{ m}$

$t = 5.125 \text{ m}$

$\gamma = 35.0^\circ$

$\alpha = 9.0^\circ$

$r_1 = 59.000 \text{ m}$

$h = 24.902 \text{ m}$

$n = 24.902 \text{ m}$

$s = 48.732 \text{ m}$

Out-run

$l_1 = 3.840 \text{ m}$

$l_2 = 5.838 \text{ m}$

$a = 20.500 \text{ m}$

$\beta_P = 35.8^\circ$

$\beta = 33.8^\circ$

$\beta_L = 30.759^\circ$

$r_L = 110.00 \text{ m}$

$r_{2L} = 70.000 \text{ m}$

$r_2 = 70.000 \text{ m}$

$Z_u = 37.866 \text{ m}$

$b_1 = 2.000 \text{ m}$

$b_2 = 3.300 \text{ m}$

$b_k = 11.000 \text{ m}$

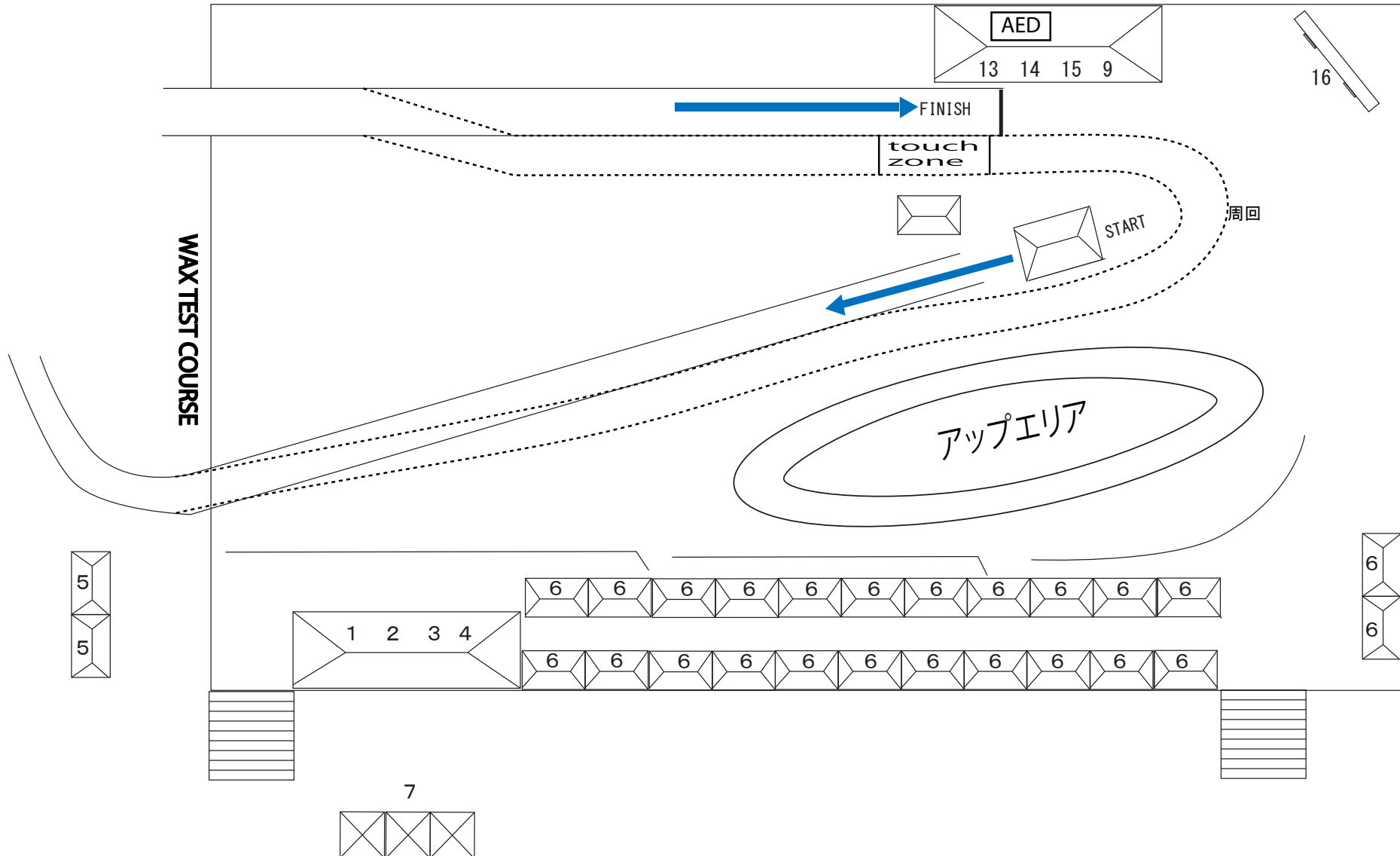
$b_u = 12.100 \text{ m}$

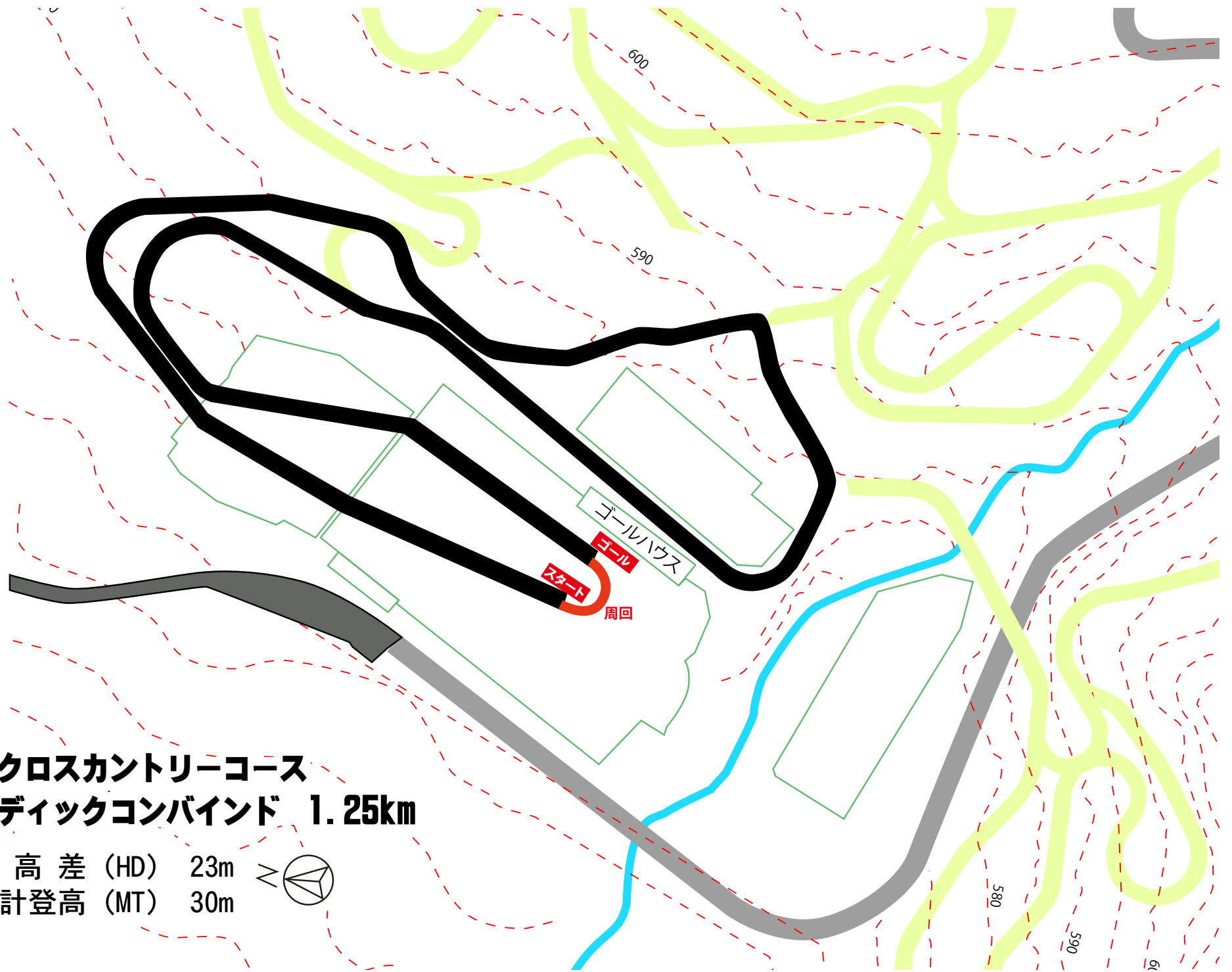
$d = 28.170 \text{ m}$

$q = 15.000 \text{ m}$

南原クロスカントリーコース会場図

1	トレーニングセンター	9	選手用トイレ
2	選手用トイレ	10	
3	女子更衣室	11	
4	メーカーWAXテント	12	
5	少数学校用テント	13	倉庫
6	各学校テント	14	計時計算室
7	仮設トイレ	15	競技本部・ジュリー室
8	公式掲示板	16	速報記録表示板

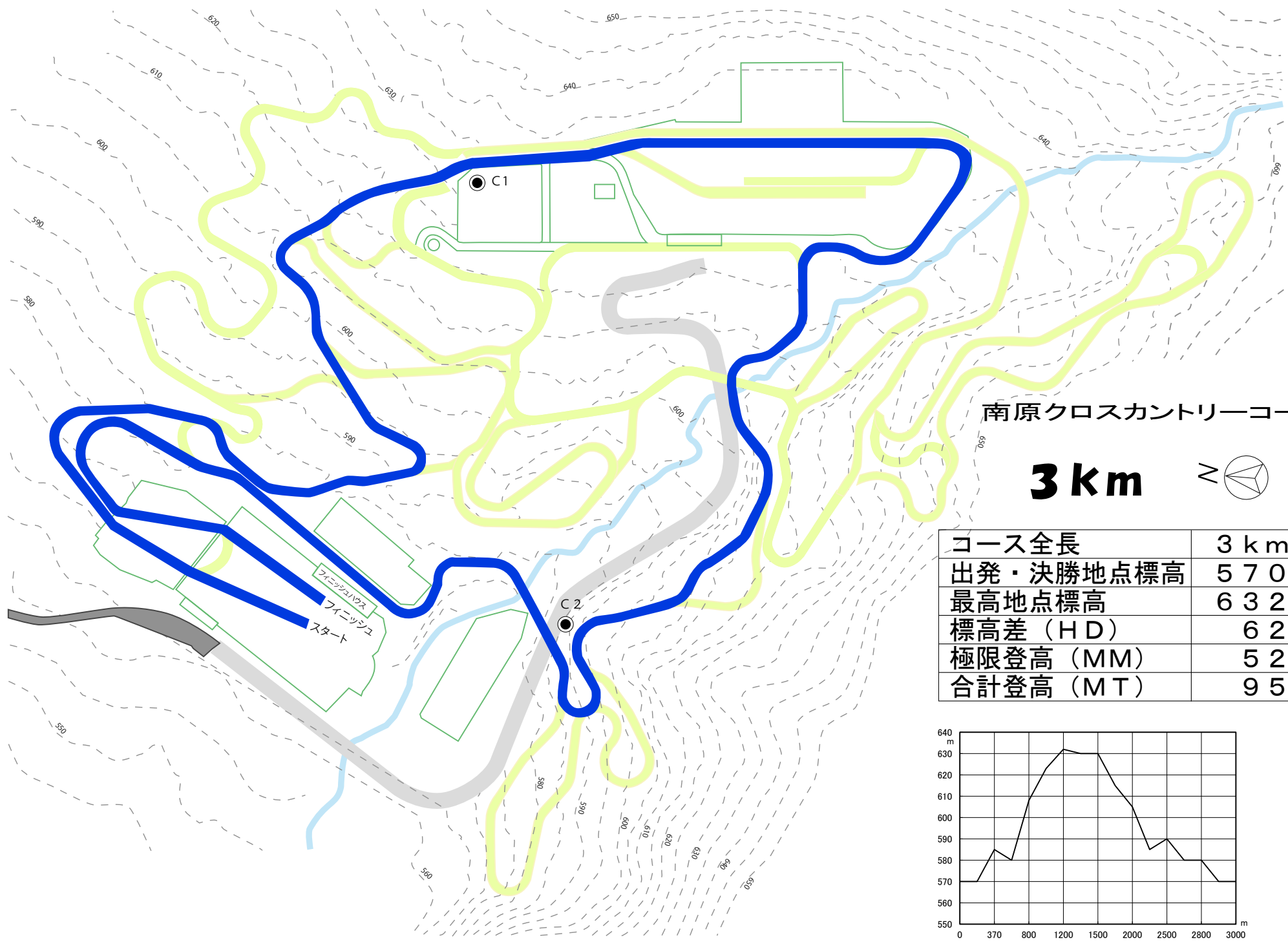




**南原クロスカントリーコース
ノルディックコンバインド 1.25km**

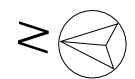
標高差 (HD) 23m
合計登高 (MT) 30m



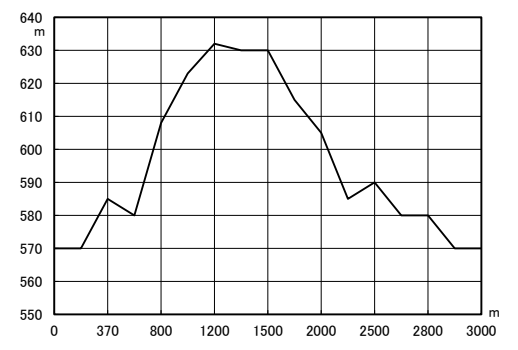


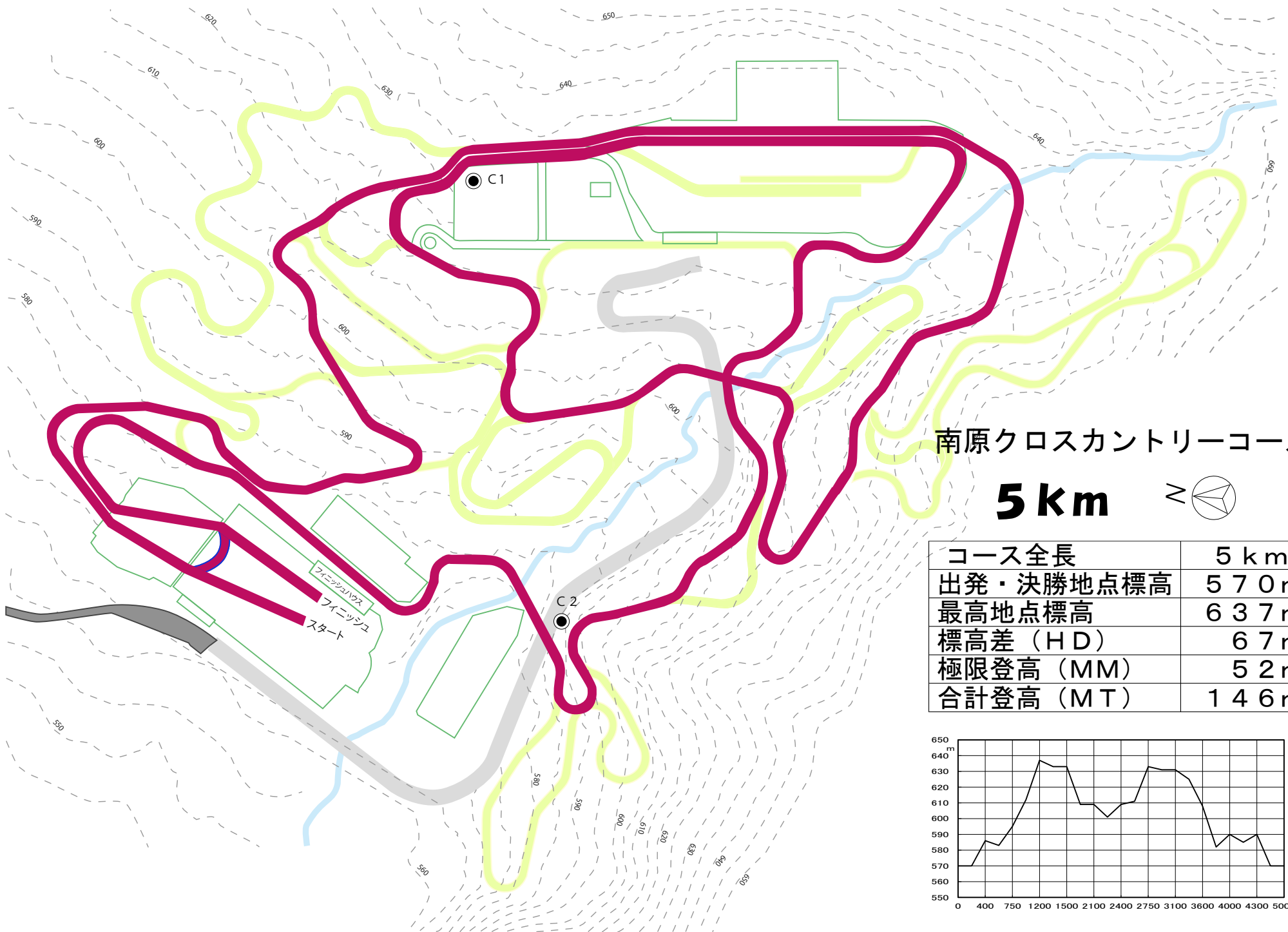
南原クロスカントリーコース

3 km



コース全長	3 km
出発・決勝地点標高	570m
最高地点標高	632m
標高差 (HD)	62m
極限登高 (MM)	52m
合計登高 (MT)	95m





南原クロスカントリーコース

5 km 

コース全長	5 km
出発・決勝地点標高	570 m
最高地点標高	637 m
標高差 (HD)	67 m
極限登高 (MM)	52 m
合計登高 (MT)	146 m

